

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第35週 > 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-13

< 麻疹 > 依然として南関東地域からの報告数が多いが、福岡県、大阪府からの報告数が増加してきている  
< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第35週の報告数は228例で2週続けて200例を超えた



病原体情報  
P.14-17

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2007年 / A群コクサッキーウイルス6型 2007年 / 麻疹ウイルス 2007年



速報  
P.18

カンピロバクター・細菌性赤痢・ジアルジア・クリプトスポリジウム重複感染による旅行者下痢症の1例



海外感染症情報  
P.19

イラクでのコレラ流行 / インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話  
P.20

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧( 35週 )  
P.21-27



35週のデータ  
P.28-40



# 発生動向総覧

2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

## <第35週コメント> 9月5日集計分

### 全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

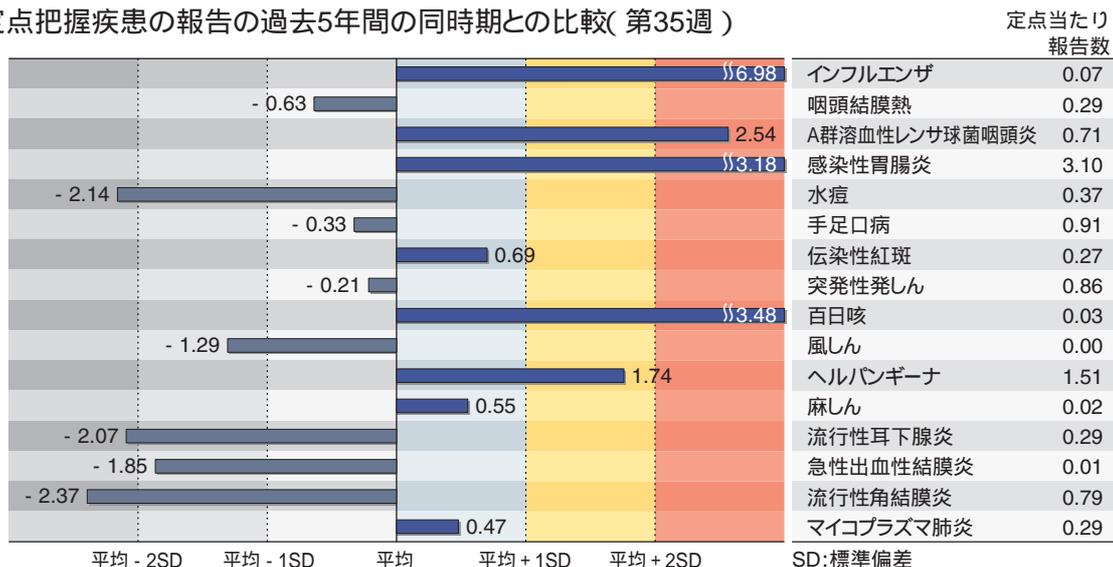
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核 259例
- 3類感染症: コレラ 1例(感染地域: 栃木県)
  - 細菌性赤痢 11例
    - (感染地域: フィリピン3例、タイ2例、ベトナム2例、ミャンマー1例、中国1例、中国/ドイツ1例、米国/ペルー/キューバ1例)
  - 腸管出血性大腸菌感染症 228例
    - (うち有症者150例、うちHUS 5例、死亡なし)
    - 感染地域: 国内225例、オーストラリア2例、国外(国不明)1例
    - 国内の多い感染地域: 大阪府(25例)、福島県(24例)\*、富山県(22例)\*\*、千葉県(14例)、福岡県(12例)、熊本県(12例)\*、兵庫県(11例)
    - \* 保育園に関連した集団発生を含む
    - \*\* 飲食店における集団発生を含む
  - 年齢群: 10歳未満(95例)、10代(33例)、20代(30例)、30代(28例)、40代(7例)、50代(20例)、60代(5例)、70歳以上(10例)
  - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(110例)、O26 VT1(45例)、O157 VT2(34例)、O111 VT1(9例)、O157 VT1(4例)、O103 VT1(3例)、O111 VT1・VT2(2例)、O121 VT2(2例)、O165 VT2(1例)、その他/不明(18例)
- 腸チフス 1例(感染地域: ネパール)
- 4類感染症: A型肝炎 1例(感染地域: 佐賀県)
  - オウム病 1例(感染地域: 栃木県、感染源: ハト)
  - デング熱 1例(感染地域: インドネシア)
  - 日本紅斑熱 5例(感染地域: 和歌山県3例、徳島県1例、鹿児島県1例)
  - マラリア 3例
    - 熱帯熱1例(感染地域: ギニア)
    - 原虫種不明2例(感染地域: ケニア1例、マレーシア/タイ/シンガポール1例)
  - レジオネラ症 5例(すべて肺炎型)
    - 年齢群: 20代1例、50代1例、60代2例、70代1例
    - 感染地域: 大阪府2例、群馬県1例(温泉)、広島県1例、香川県1例(温泉)
  - レプトスピラ症 2例(感染地域: 佐賀県1例、感染原因: 農業、感染地域: 沖縄県1例、感染原因: 川の水)
- 5類感染症: アメーバ赤痢 12例(腸管アメーバ症9例、腸管外アメーバ症2例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)
  - 感染地域: 国内10例、マレーシア1例、国外(国不明)1例
  - 感染経路: 経口4例、性的接触1例(同性間)、不明7例
- ウイルス性肝炎 2例
  - [ともにB型、感染経路: 性的接触1例(同性間)、不明1例]
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(50代)
- 後天性免疫不全症候群 14例(無症候13例、その他1例)
  - 感染地域: 国内11例、国外3例(台湾1例、タイ/中国1例、国不明1例)
  - 感染経路: 性的接触13例(異性間3例、同性間10例)、不明1例
- ジアルジア症 2例(感染地域: 国内1例、ロシア1例)
- 梅毒 6例(早期顕症I期1例、早期顕症II期1例、無症候4例)
- 破傷風 2例(40代、60代)

(補)他に梅毒1例の届け出があったが削除予定。また、報告遅れとして、パラチフス1例(感染地域: ネパール)、急性脳炎1例(病原体不明、20代)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例(ともに60代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型: VanB 1例、菌検出検体: 血液、遺伝子型: 不明1例、菌検出検体: 尿)等の報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第35週)



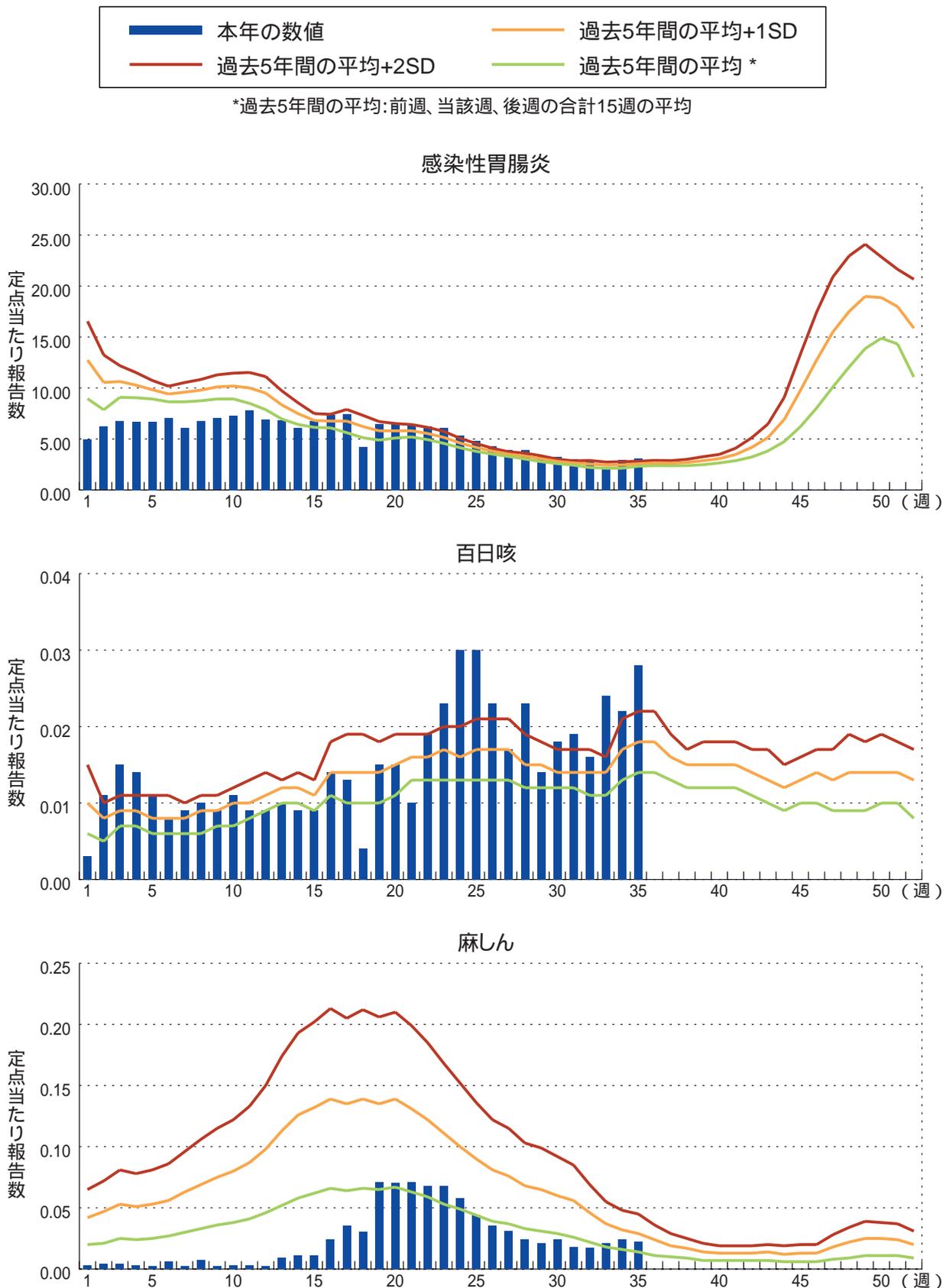
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(4.59)、宮崎県(0.14)、長崎県(0.07)が多い。

**小児科定点報告疾患**: RSウイルス感染症は162例の報告があり、報告数は増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では高知県(1.23)、広島県(0.90)、長野県(0.82)、佐賀県(0.70)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では北海道(1.57)、鳥取県(1.53)、山形県(1.43)、山口県(1.12)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では大分県(7.2)、島根県(6.7)、宮崎県(6.4)、鳥取県(5.2)が多い。水痘の定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(0.82)、大分県(0.69)、福井県(0.55)、福岡県(0.55)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では秋田県(4.5)、山形県(4.5)、岩手県(2.9)、青森県(2.4)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では高知県(1.03)、長野県(0.91)、宮城県(0.83)が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では山口県(0.10)、栃木県(0.09)、徳島県(0.09)、香川県(0.07)が多い。風しんの報告数は7例と減少した。都道府県別では愛知県2例、北海道、埼玉県、千葉県、石川県、兵庫県から各1例の順であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第31週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では青森県(5.0)、新潟県(4.9)、宮崎県(4.2)、長野県(3.3)が多い。麻疹の報告数は減少し、22都道府県から67例の報告があった。都道府県別では福岡県26例、大阪府7例、宮城県、京都府、兵庫県から各4例、埼玉県3例、岩手県、千葉県、鹿児島県から各2例の順であった。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(0.91)、高知県(0.90)、岩手県(0.69)が多い。

**基幹定点報告疾患**: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(2.4)、福島県(1.3)、佐賀県(1.0)が多い。成人麻疹の報告数は減少し、5都道府県から11例の報告があった。都道府県別では福岡県4例、大阪府3例、東京都2例、宮城県、千葉県から各1例の順であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2007年第1 ~ 35週 )  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





# 注目すべき感染症

## 麻疹

麻しんは麻疹ウイルス( *Paramyxovirus*科 *Morbillivirus*属 )によって引き起こされる感染症であるが、空気感染( 飛沫核感染 )、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示し、その感染力は極めて強い。典型的な麻疹を発症した場合、感染後10~12日前後の潜伏期を経て、3日間前後続くカタル期で発症し、その後高熱と全身の発疹を呈する発疹期に至る。特異的な治療法はなく、カタル期・発疹期を合わせると1週間以上高熱が続き、入院率や肺炎、中耳炎などの合併症発生率が未だに高く、さらに脳炎などの重篤な合併症もみられる疾患である。また、カタル期はコプリック斑を除けば麻疹に特異的な症状に乏しく、この期間中に麻疹と診断されないことのないままに発病者から感染を拡大させてしまう場合も少なくない。

感染症発生動向調査によると、全国約3,000カ所の小児科定点からの麻しんの報告数は、2007年第35週は22都道府県から67例( 定点当たり報告数0.022 )と前週の報告数( 71例 )より減少し、3週連続の増加とはならなかった( 図1 )。都道府県別では福岡県26例、大阪府7例、宮城県、京都府、兵庫県から各4例、埼玉県3例、岩手県、千葉県、鹿児島県から各2例の順であった。2007年の春季にみられた麻疹流行の中心であった南関東地域( 千葉県、埼玉県、神奈川県、東京都 )からの報告数は大きく減少してきている一方で、福岡県からの報告数は増加がみられており、また大阪府からも第21週以降10例前後の報告が継続している( 図2 )。

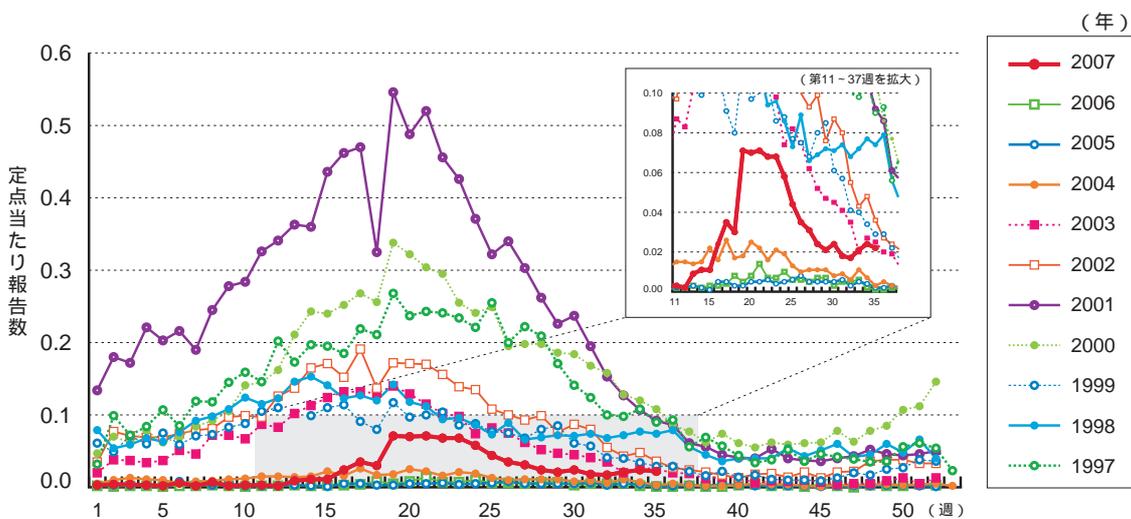


図1. 麻しんの年別・週別発生状況( 1997年 ~ 2007年第35週 )

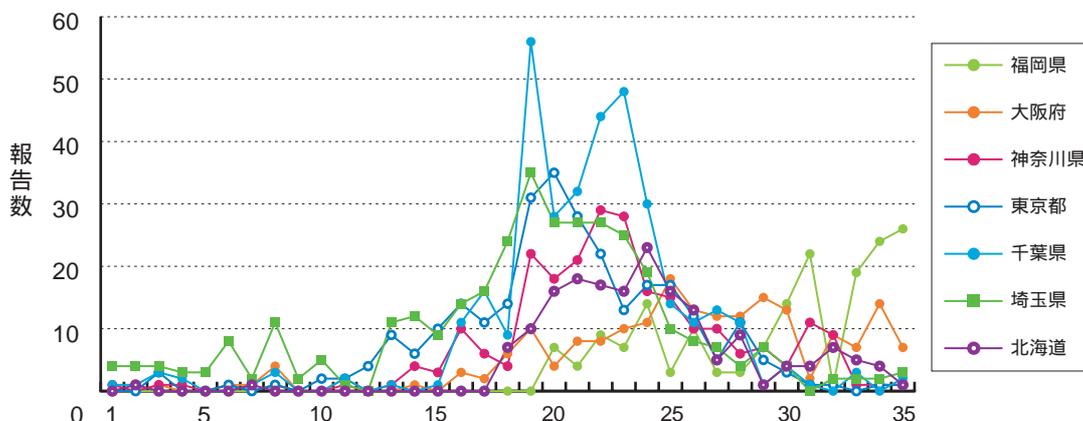


図2. 主要都道府県における麻しんの報告の週別推移( 2007年第1 ~ 35週 )

2007年第1 ~ 35週までの小児科定点からの累積報告数は2,525例( 定点当たり報告数0.84 )であり、都道府県別では千葉県349例、埼玉県342例、神奈川県242例、東京都240例、大阪府197例、福岡県195例、北海道180例、宮城県93例、広島県76例、栃木県74例の順となっている。依然として南関東地域からの報告数は他の道府県より多いが、福岡県、大阪府からの報告数が増加してきている( 図3 )。累積報告数の年齢別割合では、0 ~ 4歳の報告割合は39.0%( 986例 )と例年( 55 ~ 67% )と比べて低く、10 ~ 14歳の報告割合は29.3%( 740例 )と例年( 5 ~ 15% )よりも高い状況が続いている( 図4 )。

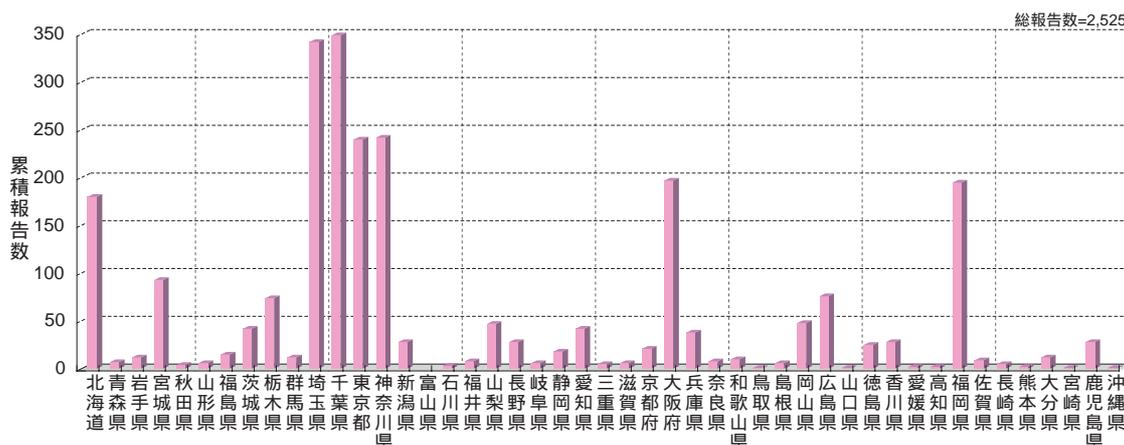


図3. 麻しんの都道府県別累積報告状況( 2007年第1 ~ 35週 )

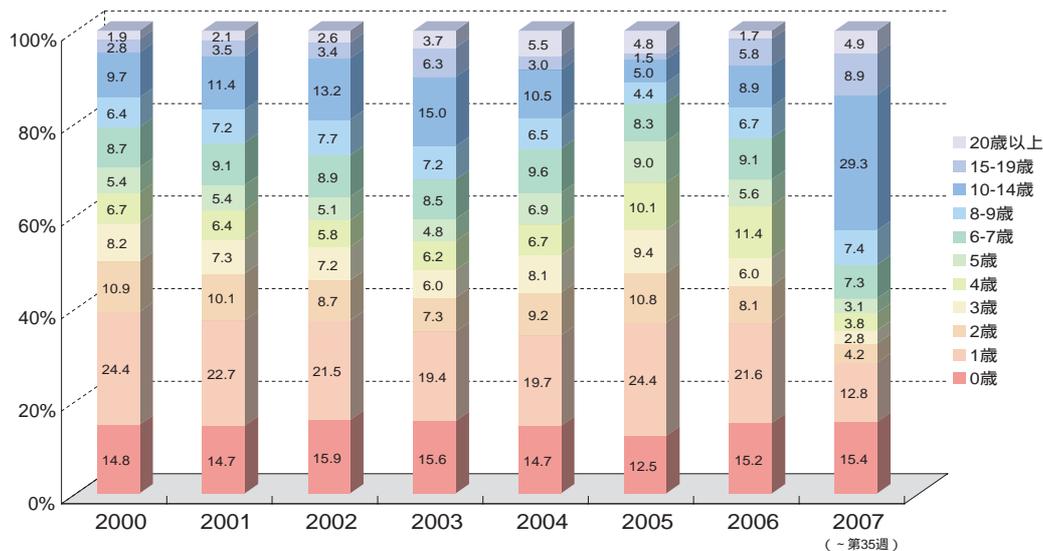


図4. 麻しんの報告症例の年別・年齢別割合 ( 2000年 ~ 2007年第35週 )

全国約450カ所の基幹定点からの成人麻しん( 届出対象は15歳以上 )の2007年第35週の報告数は5都府県から11例( 定点当たり報告数0.024 )となり、2週連続で減少した( 図5 )。都道府県別では、福岡県4例、大阪府3例、東京都2例、宮城県、千葉県から各1例の順であったが、小児科定点からの報告と同様に、福岡県や大阪府からの報告数が多くなっている( 図6 )。2007年第1 ~ 35週までの累積報告数は805例( 定点当たり報告数1.76 )であり、都道府県別では東京都212例、神奈川県101例、宮城県74例、福岡県44例、埼玉県42例、大阪府36例、北海道34例、千葉県24例、山形県、新潟県から各21例の順となっている( 図7 )。累積報告数の年齢別割合では、20 ~ 24歳27.3%( 220例 )、15 ~ 19歳27.1%( 218例 )、25 ~ 29歳22.4%( 180例 )、30 ~ 34歳11.7%( 94例 )の順であり、30歳以下で全報告数の75%以上を、34歳以下で90%近くを占めている( 図8 )。

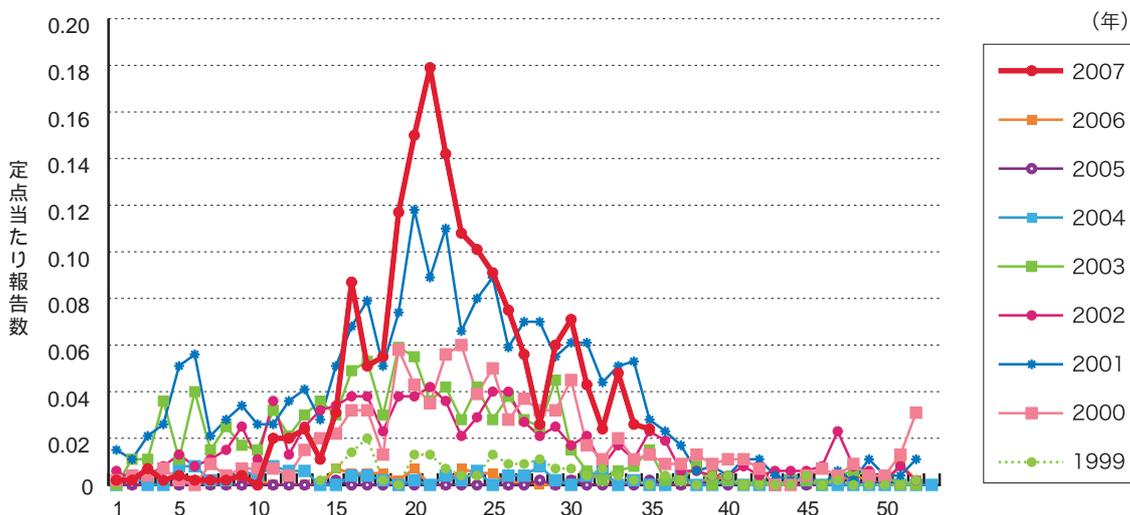


図5. 成人麻しんの年別・週別発生状況( 1999年第14週 ~ 2007年第35週 )

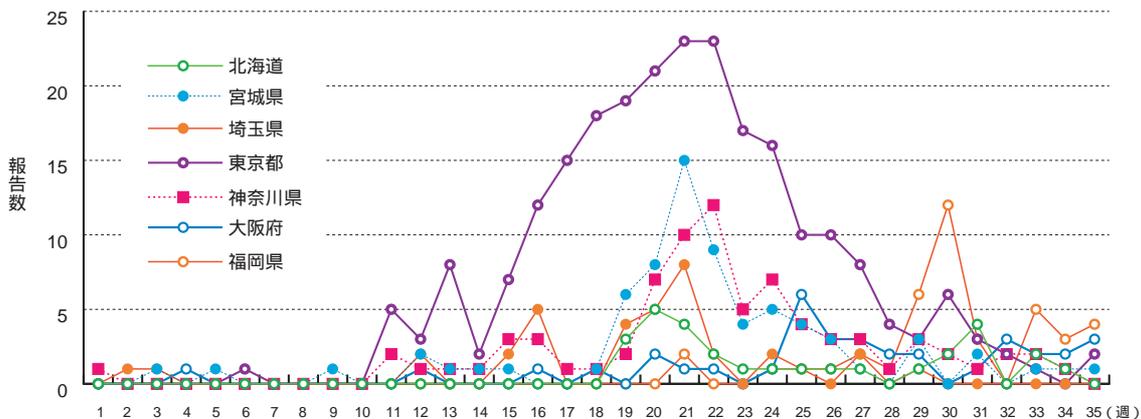


図6. 主要都道府県における成人麻しんの報告の週別推移( 2007年第1 ~ 35週 )

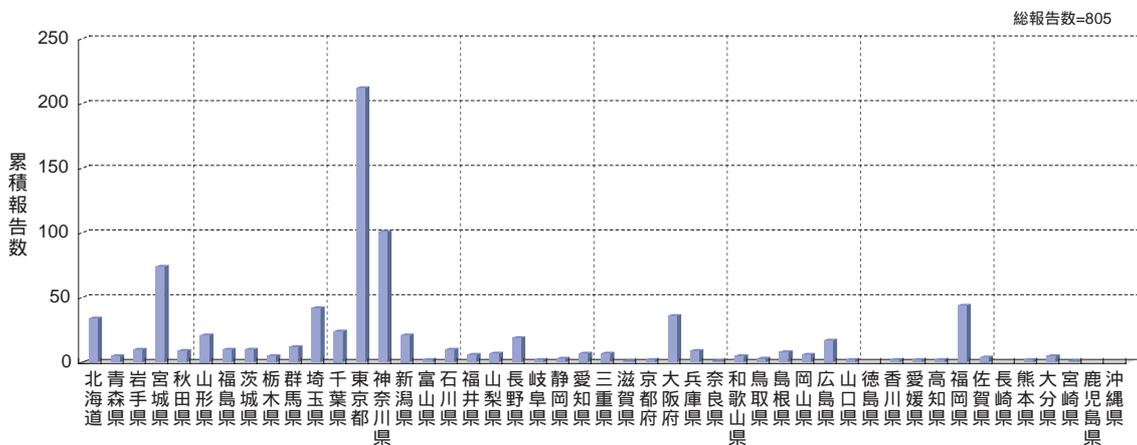


図7. 成人麻しんの都道府県別累積報告状況( 2007年第1 ~ 35週 )

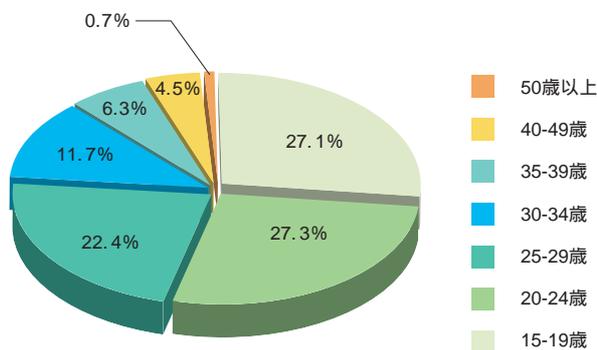


図8. 成人麻しんの報告症例の年齢別割合( 2007年第1 ~ 35週 )

麻疹の重篤な合併症である麻疹脳炎の発生は、2007年ではこれまでに第13、16、20、21、23、25、31、32週に計8例( 13歳1例、16歳2例、18歳1例、21歳1例、26歳2例、28歳1例 )が診断され、報告されている。

全国の衛生研究所における麻疹ウイルスの分離・検出状況をみると、2007年2～8月に北海道、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、福井県、山梨県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県の28都道府県から麻疹ウイルスの分離・検出が387件報告されている。遺伝子型別まで実施された275件中265件ではD5型が検出されており、他にはA型9件( ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から )とH1型1件( 中国から帰国して5日後に発症した患者から )が検出されている( 本号17ページ「病原体情報」参照、最新の報告数は感染症情報センターホームページ：

<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data61j.pdf> )。

麻疹の流行は春季から初夏にかけてが一般的であり、そのピークは5月後半から6月前半となることが多い。今回の麻疹の流行においても、小児科定点からの麻しんの報告数、及び基幹定点からの成人麻しんの報告数は共に第21週( 小児科定点からの麻しん報告数215、基幹定点からの成人麻しん報告数82 )が最大であった。流行の中心であった南関東地域からの麻しん及び成人麻しんの報告数はその後大きく減少したが、他方で福岡県からの報告数は増加傾向にあり、また大阪府も明らかな減少傾向にあるとは言い難い状態が続いている( 図2、図6 )。夏季休暇が終了し、今後今回の麻疹の流行の中心であったと考えられる10代、20代の高校、大学、専門学校等の学生層において、集団生活が再開されることとなるが、特に夏季休暇中にもかかわらず麻疹の発生が継続もしくは増加した地域においては、麻疹の発生動向について注意する必要がある。なお、今春のカナダにおける修学旅行高校生や、最近みられた米国におけるスポーツイベントでの年長児の例などのように、麻疹排除地域における日本人渡航者の麻疹発症例が、国際的に問題視されている。この背景には、各国およびWHOなどの国際機関が、国際的な感染症の伝播や移動に警戒を強めている改訂国際保健規則( IHR2005 )の今年6月からの実施によるところが大きい。

今回の麻疹の流行を受けて、( 1 )流行の中心であった麻疹関連ワクチン1回接種世代の一部に対する補足的ワクチン接種機会の提供と任意接種での積極的な勧奨、( 2 )麻疹発生例の全数把握と予防接種実施状況の把握、( 3 )麻疹発生時の迅速な対応、( 4 )麻疹対策実施体制の確立、等の各種対策が、今後の日本国内の麻疹の排除( Elimination )に向けて現在検討されつつある。もっとも、2007年の日本国内における麻疹の流行は、まだ継続中である。医療機関、学校、施設等における麻疹の発生と伝播、流行外の地域への麻疹の流入、そして既に麻疹が排除された国々への麻疹の輸出等、すぐに解決すべき問題がまた新たに発生する可能性があり、麻疹の流行に関する警戒は秋季においても継続していく必要がある。現状のまま新たな対策が行われなければ、来年以降も本年と同様の状況が繰り返されると考えられる。早急に対応が必要である。

以下に、麻しん関連情報として感染症情報センターのホームページに掲載されている主な項目とそのURLを挙げる。麻しん対策として活用いただければ幸いである。

麻疹( はしか ): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>

緊急情報

関連情報( 注目すべき感染症/速報「麻しん」、施設別発生状況( 学校欠席者数 )、医療機関での麻疹の対応について、保育園・幼稚園・学校等での麻しん患者発生時の対応マニュアル )

国内情報( 麻疹の現状と今後の麻疹対策について、わが国の健常人における麻疹PA抗体保有率、病原微生物検出情報[ IASR ]麻疹特集、ウイルス検出状況他 )

Q&A : <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/QA.html>

麻疹発生DB( データベース ): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas-db.html>

予防接種の話「麻疹」: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/b-measles.html>

年齢別麻疹、風疹、MMRワクチン接種率 : <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/atopics/atpcs001.html>

感染症の話「麻疹」: [http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03\\_03/k03\\_03.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_03/k03_03.html)

「麻疹・風疹ワクチンなぜ2回接種なの？」ポスター : <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn01.html>

「麻疹風疹混合ワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう」ポスター :

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn04.html>

「小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを！」ポスター :

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html>

2006年度第2期麻疹・風疹ワクチン接種に関する全国調査 - 最終評価 - :

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3313.html>

## 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、感染症法の3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の報告が、診断した全ての医師に義務付けられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の検便によって偶然発見される場合もあるが、届け出された患者と食事をともにした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。

### 報告数推移

2007年の腸管出血性大腸菌感染症の報告数は第19週に50例を超え、第22週には東京都における集団発生の影響から100例を超えた。第23週は196例(うち東京都105例)となった後、第24週には一旦80例に減少したが、その後は毎週100例以上の報告が認められる。

第28週( 208例 )、第30週( 224例 )、第34週( 253例 )は200例を超え、第35週も228例と2週続けて200例を超えた( 2007年9月5日現在 )( 図1 )。本年第35週までの累積報告数2,784例は、過去7年間の同週までの累積報告数と比較して、2001年に次いで多い報告数である( 2000年2,268例、2001年3,534例、2002年2,452例、2003年1,701例、2004年2,648例、2005年2,417例、2006年2,618例。7年間の平均2,520例 )。

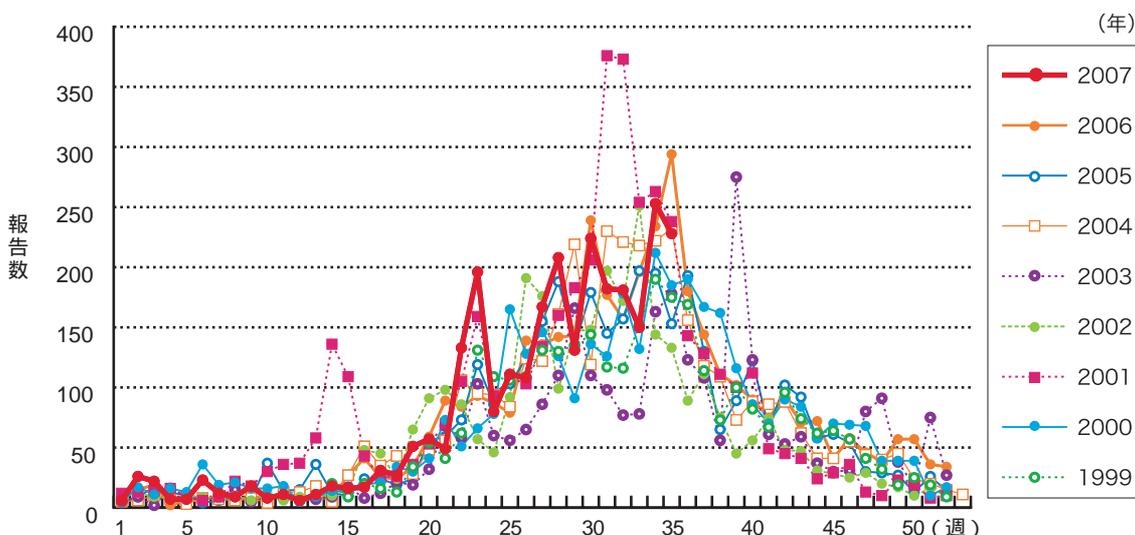


図1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況( 1999年第14週 ~ 2007年第35週 )

### 第35週の報告

第35週に報告のあった228例は、有症者150例( 66% )で、無症状病原体保有者が78例( 34% )であった。報告の多かった都道府県は大阪府( 26例 )、福島県( 24例 )、富山県( 22例 )、千葉県( 15例 )、福岡県( 12例 )、熊本県( 12例 )、兵庫県( 11例 )、岩手県( 10例 )であった。感染地域は国内225例、オーストラリア2例、国外( 国不明 )1例であり、国内の感染地域として多かった都道府県は、大阪府( 25例 )、福島県( 24例 )、富山県( 22例 )、千葉県( 14例 )、福岡県( 12例 )、熊本県( 12例 )、兵庫県( 11例 )であった。福島県、熊本県は保育施設での集団発生に関連した報告が含まれている。また、富山県は焼肉店における集団発生による報告が含まれている。

性別では男性110例、女性118例であり、年齢群別では0～9歳95例(0～4歳62例、5～9歳33例)、10～19歳33例、20～29歳30例、30～39歳28例の順に多かった。

分離された菌の血清型・毒素型は、O157 VT1・VT2(110例)、O26 VT1(45例)、O157 VT2(34例)、O111 VT1(9例)、O157 VT1(4例)、O103 VT1(3例)、O111 VT1・VT2(2例)、O121 VT2(2例)、O165 VT2(1例)、その他/不明(18例)であった。

**第35週までの累積報告**

第1～35週に報告された2,784例についてみると、報告の多い都道府県は、東京都(359例)、大阪府(306例)、福岡県(142例)、神奈川県(132例)、千葉県(121例)、兵庫県(115例)、石川県(104例)、埼玉県(102例)であった(図2)。感染地域は国内が2,744例(99%)であり、国外が29例、国内か国外か不明が11例であった。

症状の有無別では有症者1,878例(67.5%)、無症状病原体保有者906例(32.5%)、性別では男性1,228例(44%)、女性1,556例(56%)であり、年齢群別では0～9歳1,011例(0～4歳642例、5～9歳369例)、20～29歳448例、10～19歳428例、30～39歳281例の順に多かった。また、30歳未満の年齢群では有症状者が多く、30～39歳及び40～49歳は無症状病原体保有者が多くなるが、50歳以上の年齢群では再び有症者が多くなる傾向が認められる(図3)。

分離された菌の血清型・毒素型は、O157 VT1・VT2(1,115例)、O157 VT2(856例)、O26 VT1(270例)、O111 VT1(87例)、O111 VT1・VT2(83例)、O121 VT2(54例)、O103 VT1(52例)、O157 VT1(50例)の順に多かった。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は、第35週までに75例が報告されている。本疾患の届出の基準としては、大腸菌の分離・同定かつ分離菌におけるベロ毒素の確認が必要であるが、溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例に限り、2006年4月からは、便からのベロ毒素の検出や血清抗体(O抗原凝集抗体あるいはベロ毒素抗体)の検出によって診断された場合も届け出の対象とされている。75例のうち25例は菌が分離されず、そのうち2例が便からのベロ毒素の検出、23例が血清抗体の検出による診断として届け出られたものである。死亡例は2007年では第35週までに2例(3歳、50代)報告されている。届け出時点以降でのHUSなどの合併症や死亡は十分反映されていない可能性があるため、発生があった場合には追加・修正報告していただくようお願いしている。

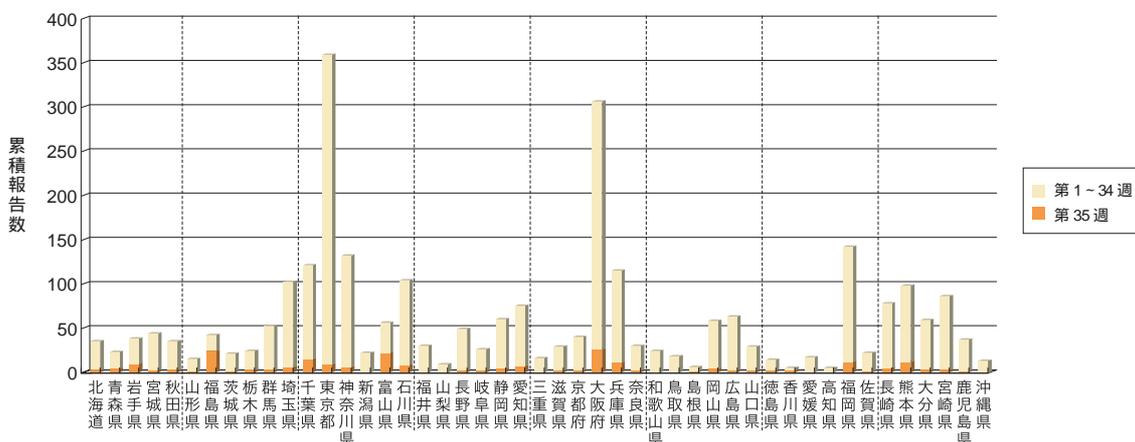


図2. 腸管出血性大腸菌感染症の都道府県別累積報告状況(2007年第1～35週)

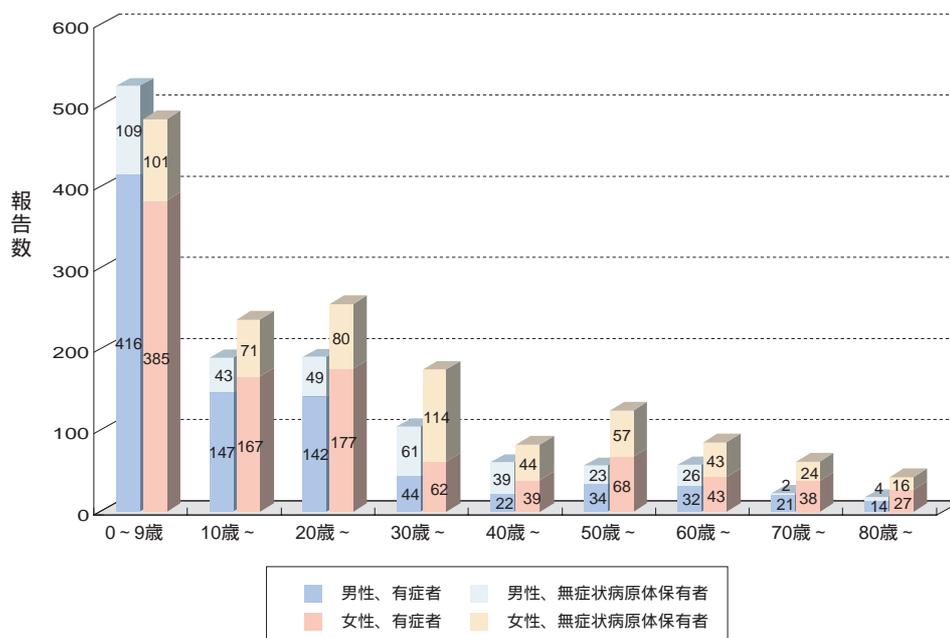


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の性別・年齢別・症状の有無別報告状況( 2007年第1～35週 )

本年は学校での食中毒による大規模な集団発生が見られたほか、保育施設における集団発生はいまだに後を絶たない状況が続いている。また第35週には飲食店における20例を超える集団発生も発生している( 9月5日現在では16例の報告 )。今後も報告数の多い状況が続くと考えられるので、その発生動向には引き続き注意が必要である。

食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。特に、保育施設における集団発生が多くみられており、腸管出血性大腸菌に限らない日ごろからの注意として、オムツ交換時の手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要である。さらに2006年には、動物とのふれあい体験での感染と推定される事例が報告されており、動物との接触後の十分な手洗いにも注意する必要がある。

保健所などによる原因食材・食品の調査の際には、感染症対策部門と食品衛生部門が連携することはもとより、食材・食品の流通の観点から都道府県を越えた発生拡大( Diffuse outbreak )も考慮し、必要に応じて関連自治体が協働して対応することも重要である。

( 補 ) 菌の検出状況については、<http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html> をご参照ください。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2007年9月6日現在報告分)

### ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2007年

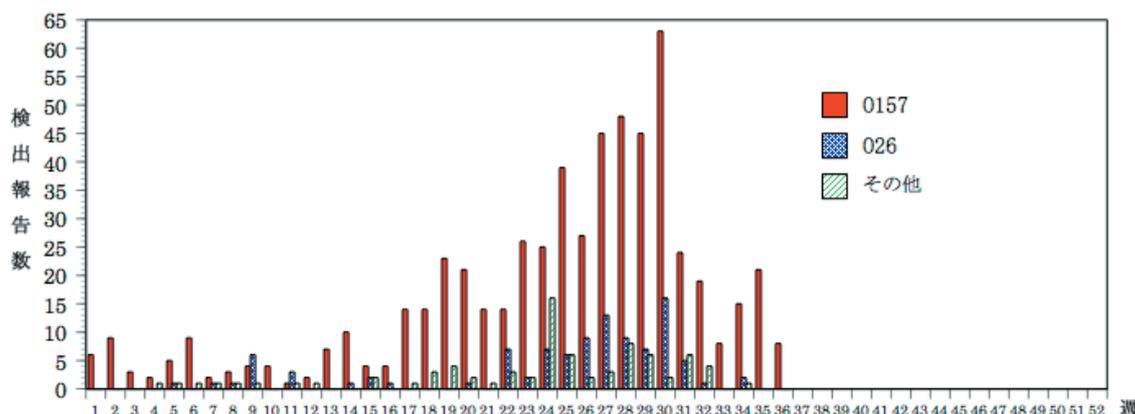
2007年の検出総数は777件で、O157が36道府県から596件、O26が19道府県から101件、その他の血清型が22都道府県から80件報告されている。

直近の4週間(2007年第32～35週)では、O157が富山県24件、熊本県9件、宮崎県8件、群馬県7件、青森県6件など11県から63件、O26が富山県、徳島県、熊本県から各1件、その他の血清型が熊本県、宮崎県から各2件、群馬県から1件報告されている。

また、集団発生事例として、宮崎県から第31～32週に保育所でのO111:H-による1事例および第32～33週に保育所でのO157:H7による1事例、第34～35週に富山県から飲食店でのO157:H7による1事例が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2007年

(病原微生物検出情報：2007年9月6日現在報告数)



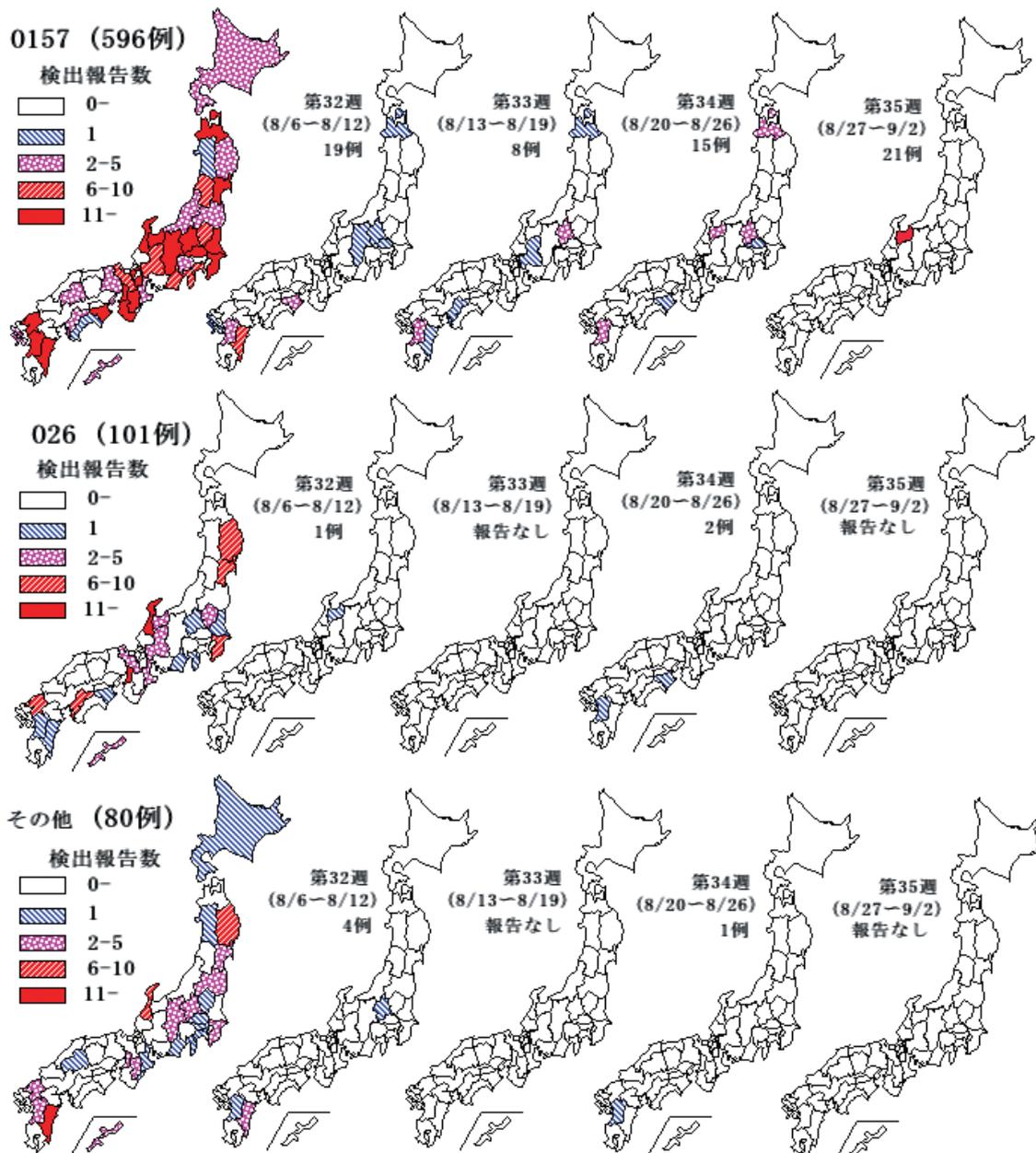
\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を圖に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2007年

(病原微生物検出情報：2007年9月6日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

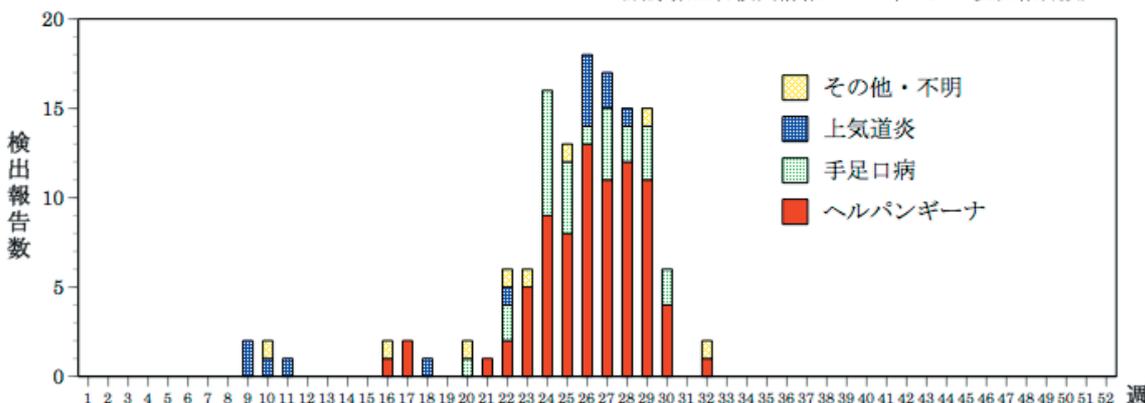


### A群コクサッキーウイルス6型 2007年

第22週以降報告が増加している。高知県25件、愛知県20件、広島県15件、鳥取県14件、島根県10件、佐賀県9件、秋田県7件、徳島県6件など17府県から計127件が報告されている。検出例の診断名はヘルパンギーナ80件、手足口病26件、上気道炎13件、不明熱3件、感染性胃腸炎2件、下気道炎、発疹症、口内炎各1件が報告されている。

週別Coxsackievirus A6分離・検出報告数、2007年

(病原微生物検出情報：2007年9月6日現在報告数)



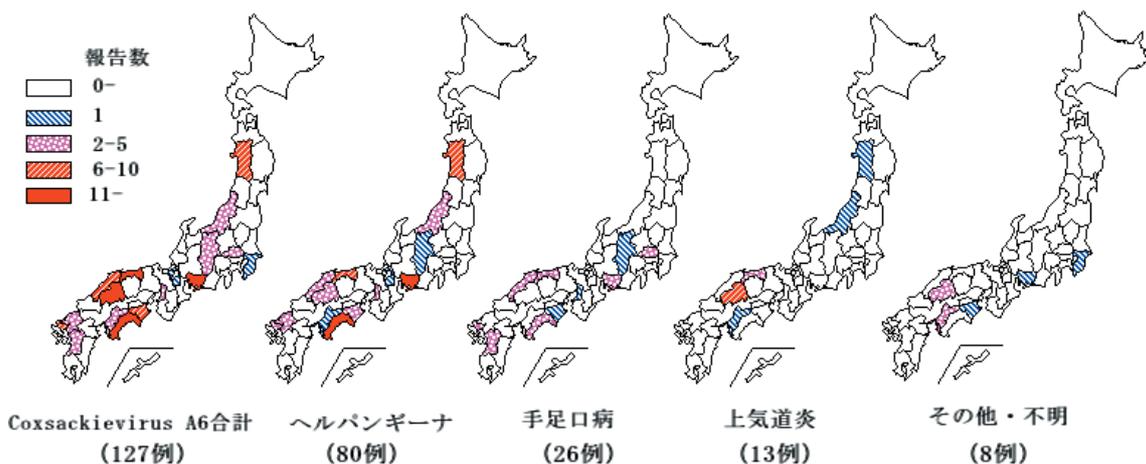
\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別診断名別Coxsackievirus A6分離・検出報告状況、2007年

(病原微生物検出情報：2007年9月6日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



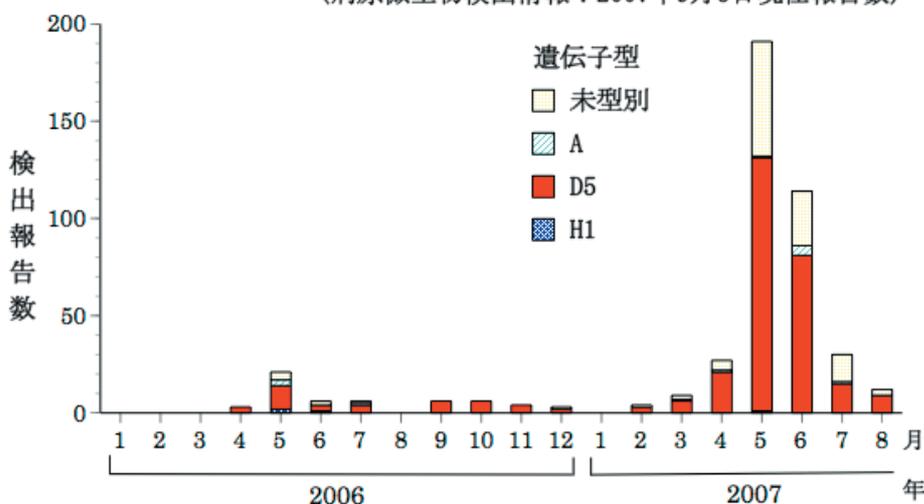
Infectious Agents Surveillance Report

### 麻疹ウイルス 2007年

2007年2～8月に北海道、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、福井県、山梨県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県の28都道府県から麻疹ウイルスの分離・検出が387件報告されている。遺伝子型別まで実施された275件中265件ではD5型が検出されており、他にはA型9件(ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から)とH1型1件(中国から帰国して5日後に発症した患者から)が検出されている。

D5型は2006年4～7月に千葉県と茨城県、9～12月に沖縄県から報告されていた。

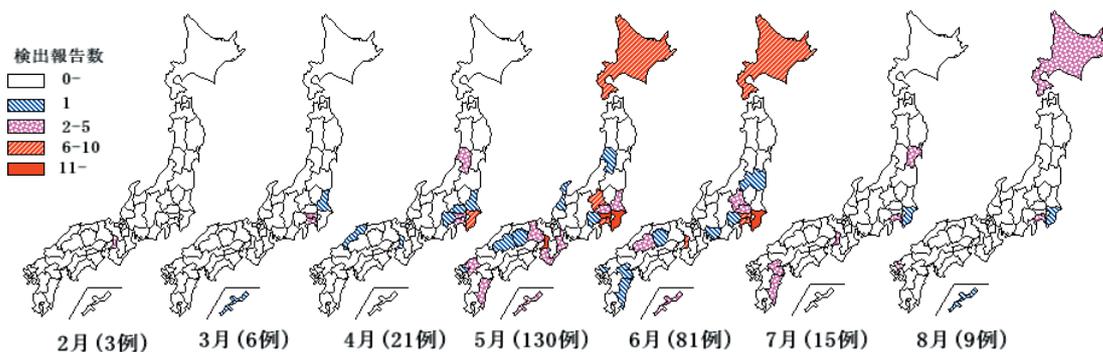
月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2007年8月  
(病原微生物検出情報：2007年9月6日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



月別都道府県別麻疹ウイルスD5型分離・検出報告状況、2007年 (病原微生物検出情報：2007年9月6日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した





## カンピロバクター・細菌性赤痢・ジアルジア・クリプトスポリジウム重複感染による旅行者下痢症の1例

4種類の病原体に重複感染した旅行者下痢症の1例を経験したので報告する。

患者は24歳の男性で、2007年7月23日～8月13日までネパール(カトマンズ)・インド(ラクソール、バラナシ、アグラ、デリー)・台湾を旅行したバックパッカーである。渡航前にトラベルワクチンの接種なく、マラリア予防内服もしていなかった。渡航数日後から下痢が始まったが、8月9日から症状がひどくなり1日10回以上の米のとぎ汁様の下痢が認められるようになった。現地ではミネラルウォーターを飲んでしたが、食事は屋台で食べ、フルーツも食べていたとのことである。

帰国後も下痢が続くため8月17日当院救急外来を受診した。血液検査で大きな異常なく、水分摂取可能、全身状態良好であったため細菌検査用の便を採取され帰宅となった。8月20日に感染症科外来を受診した。便培養で*Campylobacter* sp.が検出されたが、1週間以上続く下痢のため寄生虫感染を疑い検便を行ったところ、ジアルジアのシストとクリプトスポリジウムのオーシストが検出された。ジアルジアに対してメトロニダゾール750mg/日、7日間の治療を開始した。その後、細菌検査室より*Shigella sonnei*が検出されたとの連絡があり、8月23日からレボフロキサシン400mg/日、5日間の治療を追加した。9月6日に再診し、細菌性赤痢治療後の陰性確認検査を提出中である。依然として下痢があり検便を行ったところ、ジアルジアのシストが検出されている。クリプトスポリジウムは陰性化していた。9月10日からジアルジアの再治療を開始した。これまでに Dengue 熱、マラリア、腸チフス・パラチフスを疑わせる症状は出現していない。

熱帯病に無防備な若者の渡航者が増加している。本症例では病原体に汚染された屋台の食事やフルーツから経口感染したと推定される。同様の経路でウイルス性肝炎(A・E型)などに感染していることも考えられる。これらはまだ潜伏期であるため症状の出現に注意して経過観察を行っていく予定である。昨年、私たちはインド・ネパールで感染した腸チフス・パラチフス症例を4例経験した。いずれも20～30代の男女で、そのうちの2例は腸チフスにカンピロバクター・クリプトスポリジウム・E型肝炎を重複感染した例、腸チフスにジアルジアを重複感染した例であった。渡航者への熱帯病への注意を喚起する必要があるとともに、医療従事者は重複感染を見逃さないよう検査を進め、経過観察することが重要であると考えられる。

東京都立墨東病院感染症科 中村(内山)ふくみ 中村 造 古宮伸洋 大西健児

(IASR 2007年10月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> ) をご覧下さい。

### イラクでのコレラ流行

WHO/EPR 2007年9月10日

2007年8月23日から9月6日の間にSulaymaniyah行政地区11地区のうち5地区から報告された急性水溶性下痢症の累積総数が死亡者9名を含む患者3,182名に達した( 致死率0.3% )。報告された患者のうち283件の便検体でコレラ菌が確認された。

2007年7月29日から9月2日までの期間に、Kirkuk行政地区の保健当局は、死亡者1名を含む急性水溶性下痢症の患者3,728名を報告した( 致死率0.03% )。検査で確認されたコレラの初発症例は、2007年8月14日にKirkuk行政地区で報告された。ごく最近、検査でコレラと確認された患者6名がErbil行政地区で報告された。

### インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年9月10日 - 更新16

インドネシア保健省は、新たな鳥インフルエンザA/H5N1亜型感染患者1名を発表した。Riau州の33歳男性が、8月25日に発症し、9月2日に入院、9月6日に死亡した。感染源は現在調査中である。

インドネシアでは、現在までに感染が確認された106名中、85名が死亡している。



## 感染症の話

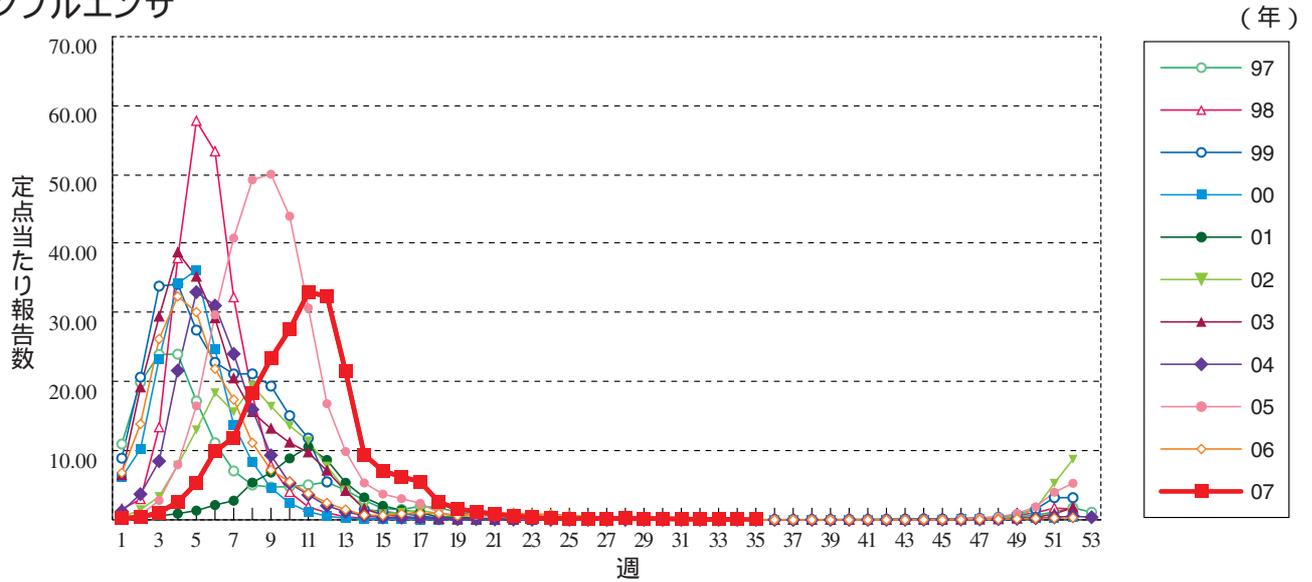
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

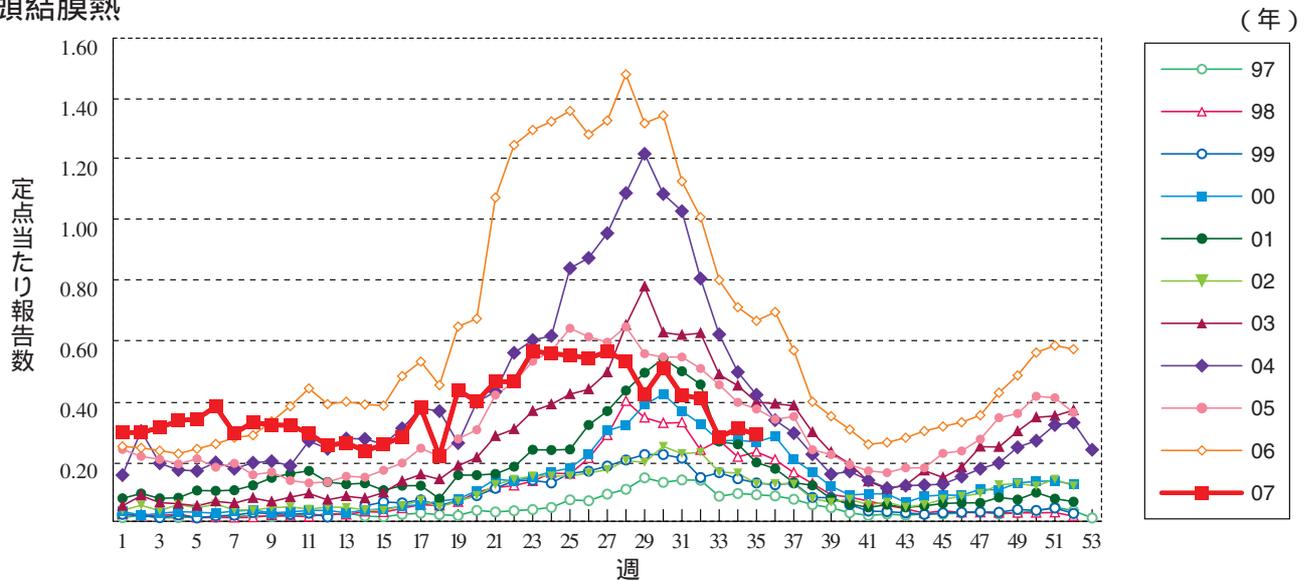
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧(35週)**

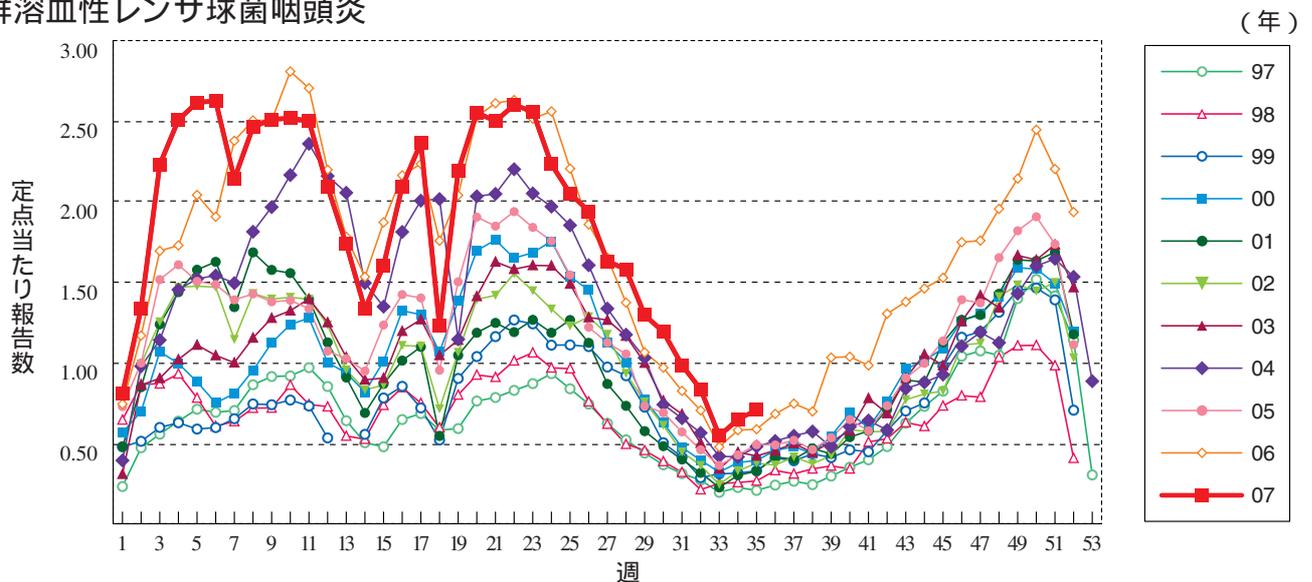
**インフルエンザ**



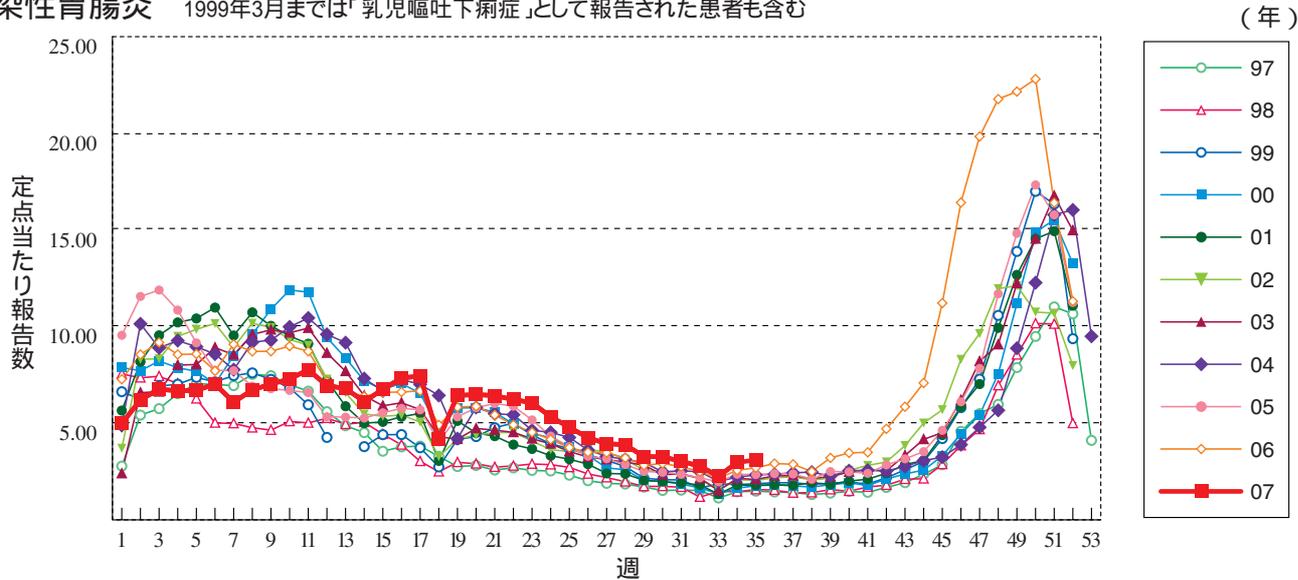
**咽頭結膜熱**



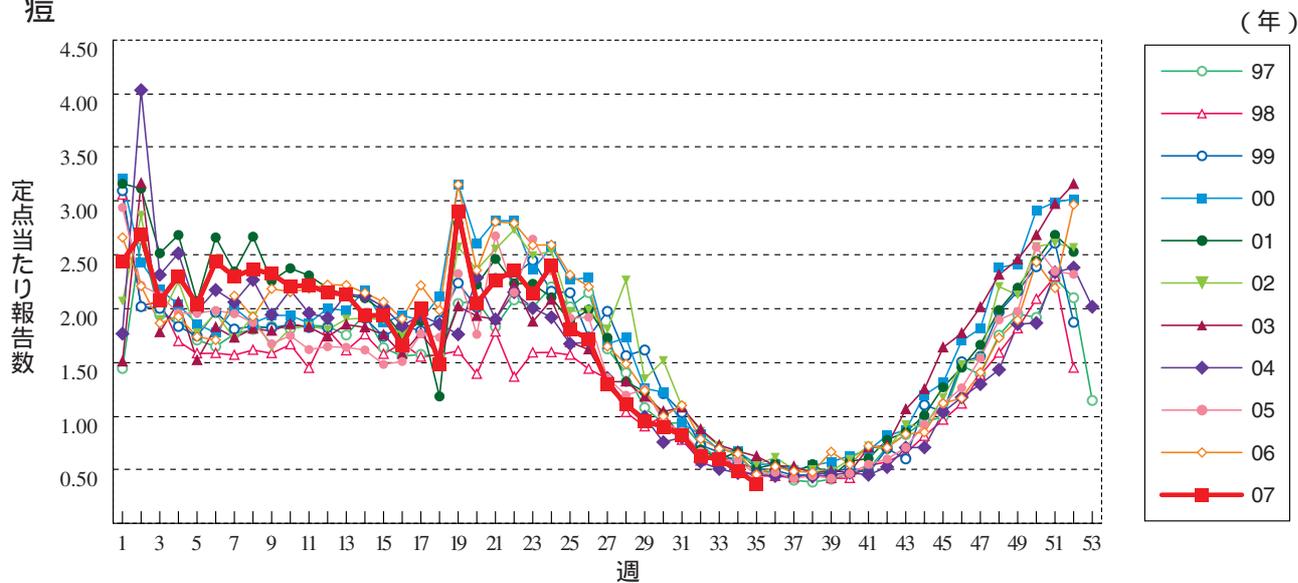
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



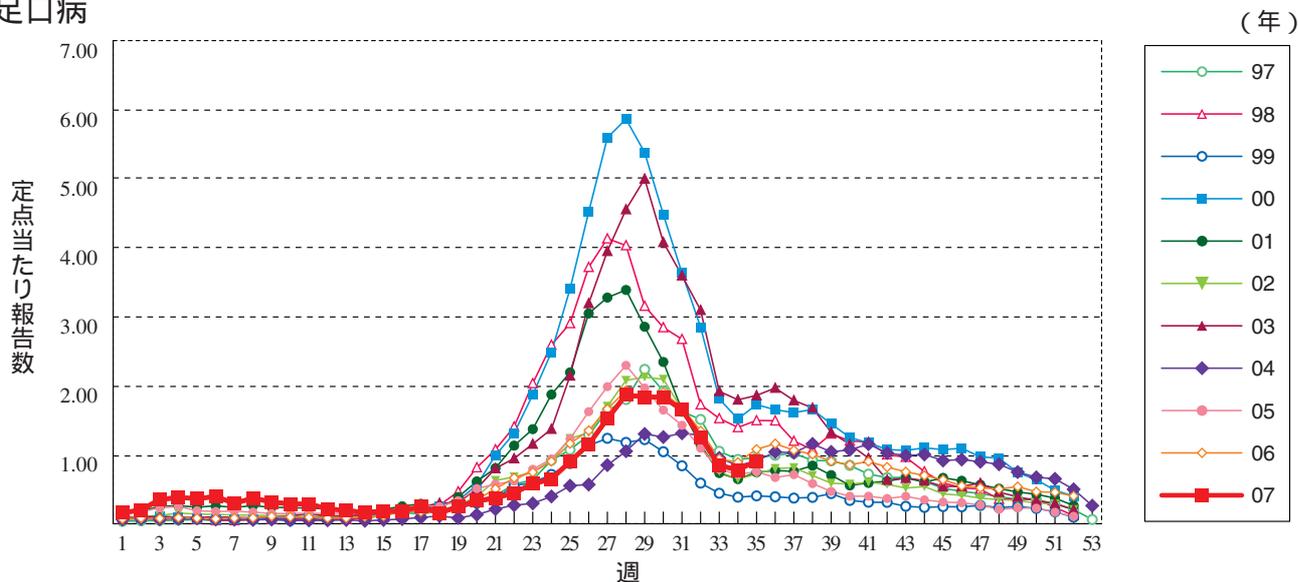
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



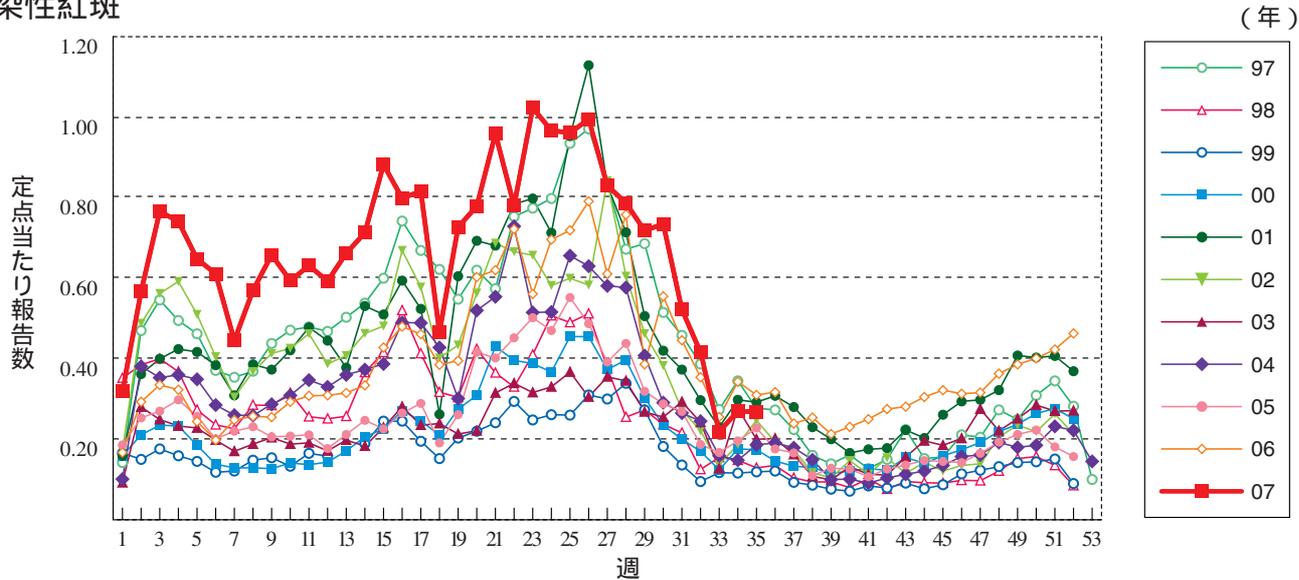
**水痘**



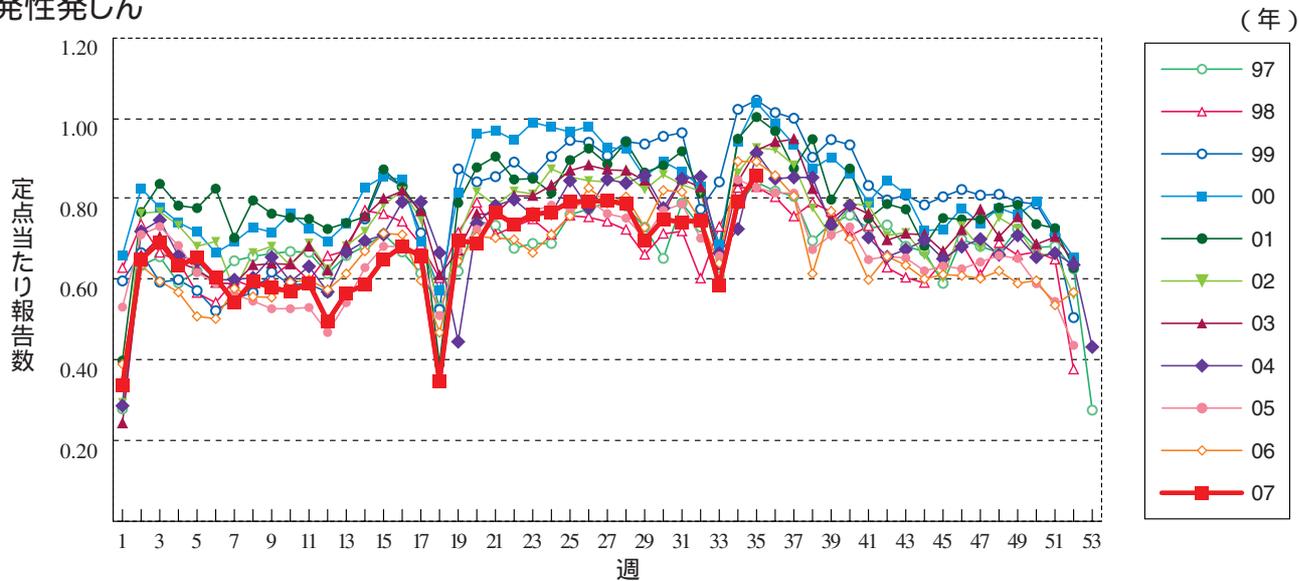
**手足口病**



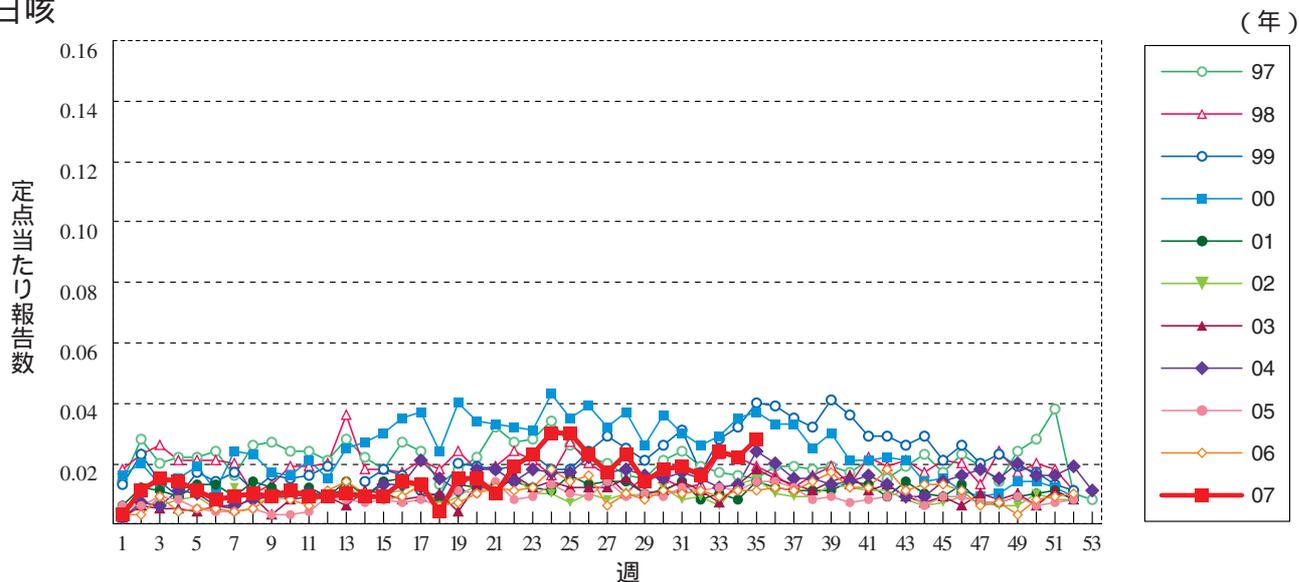
伝染性紅斑



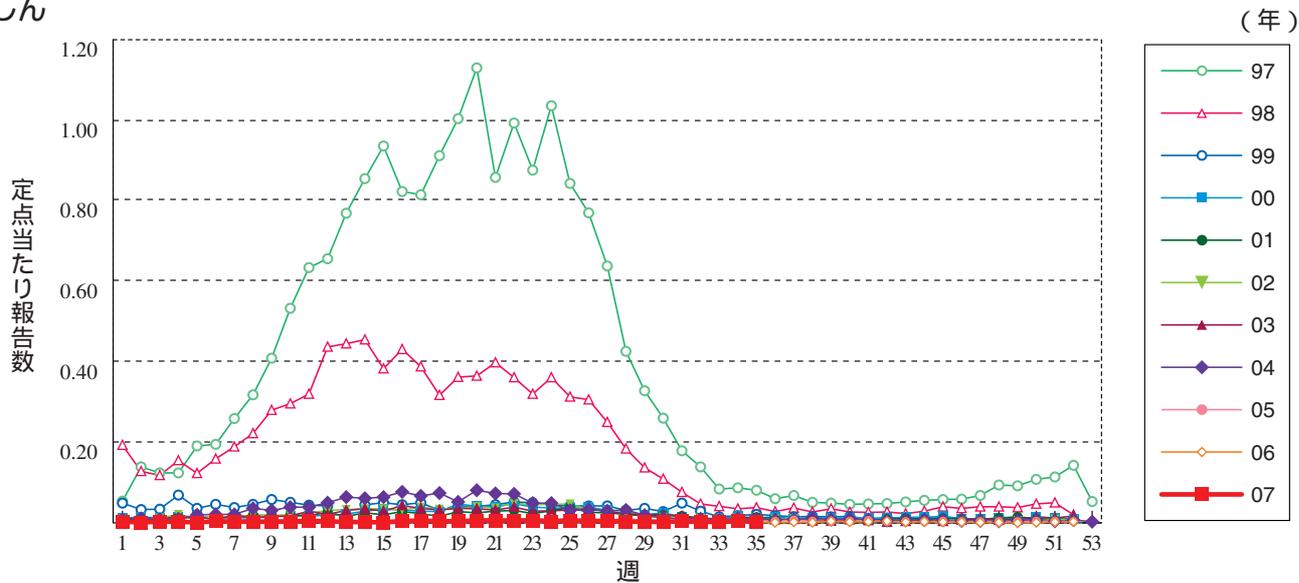
突発性発しん



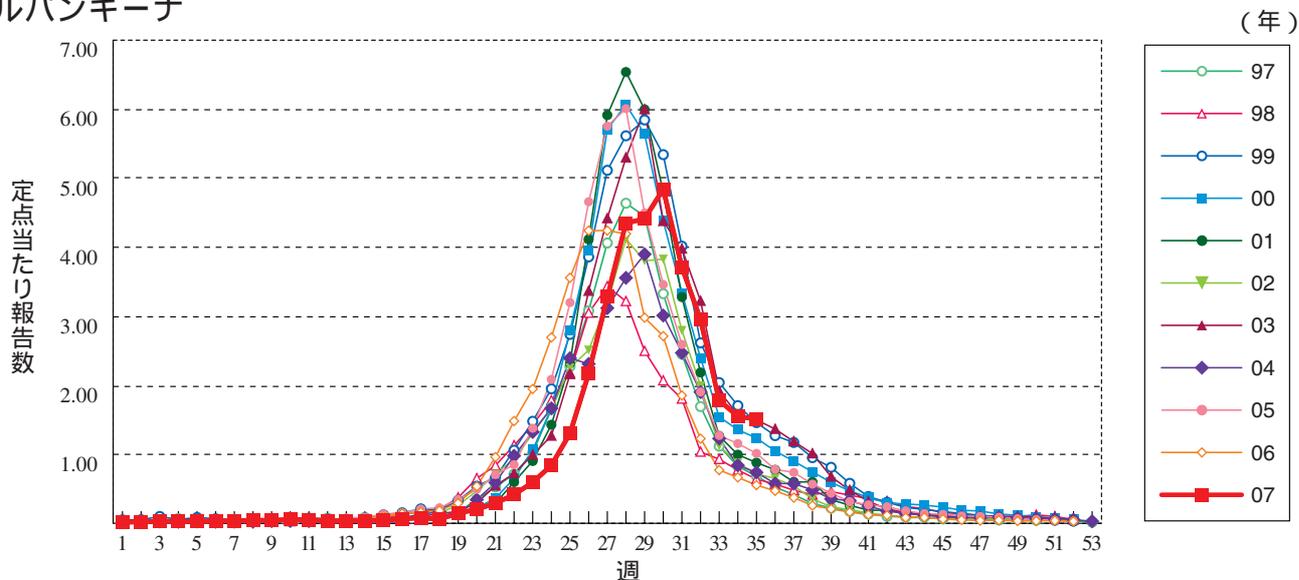
百日咳



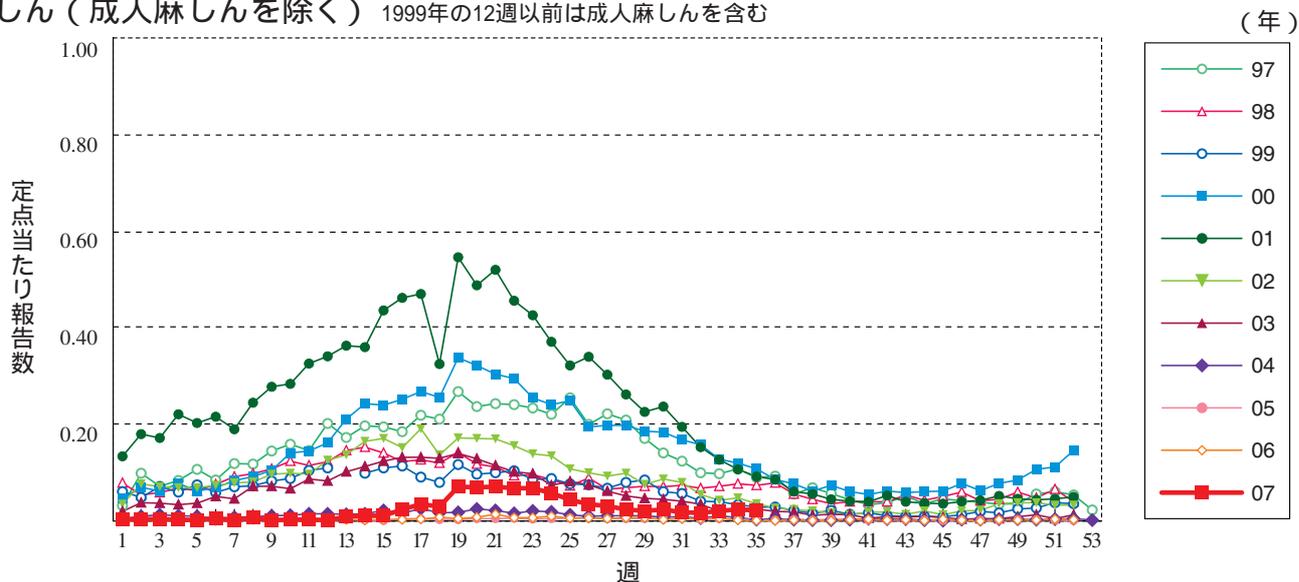
風しん



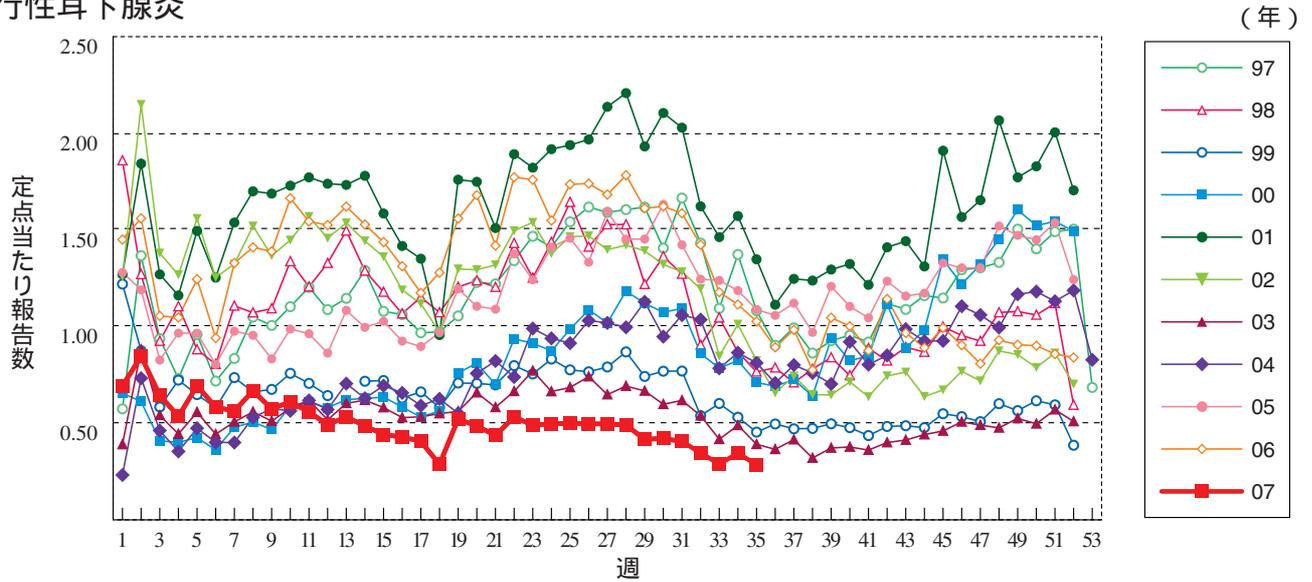
ヘルパンギーナ



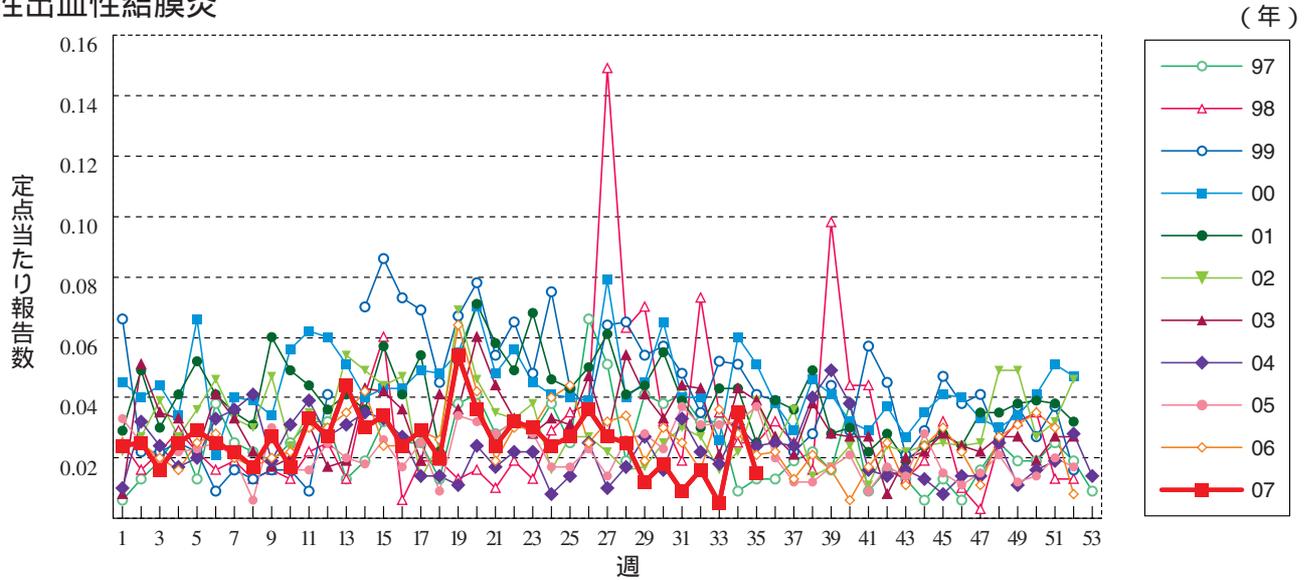
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



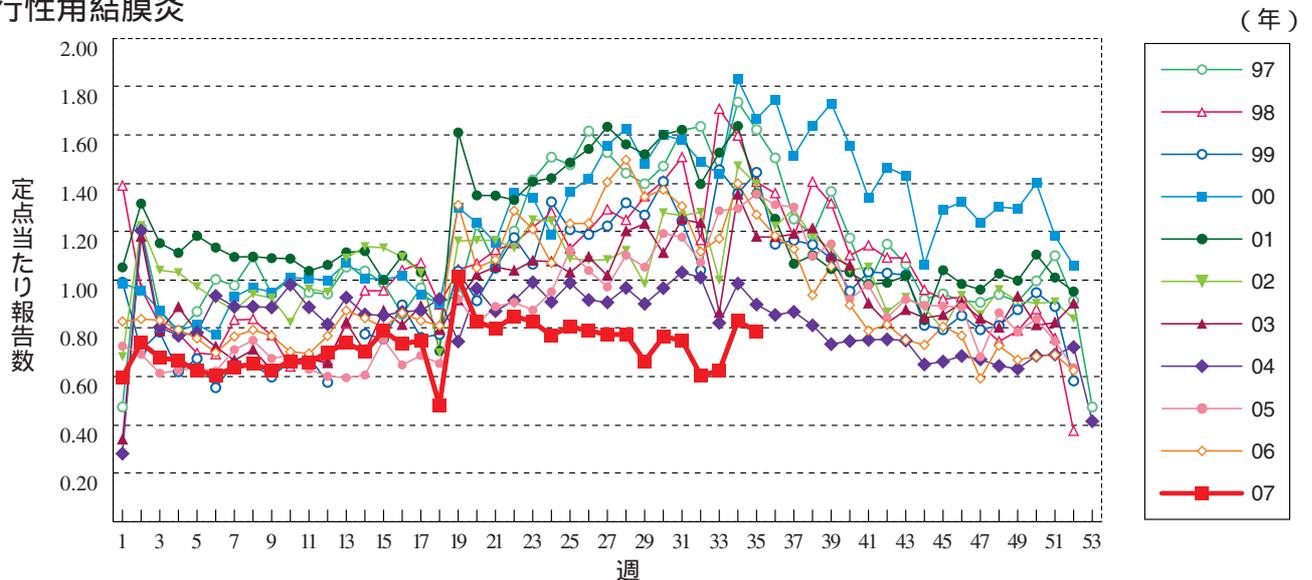
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

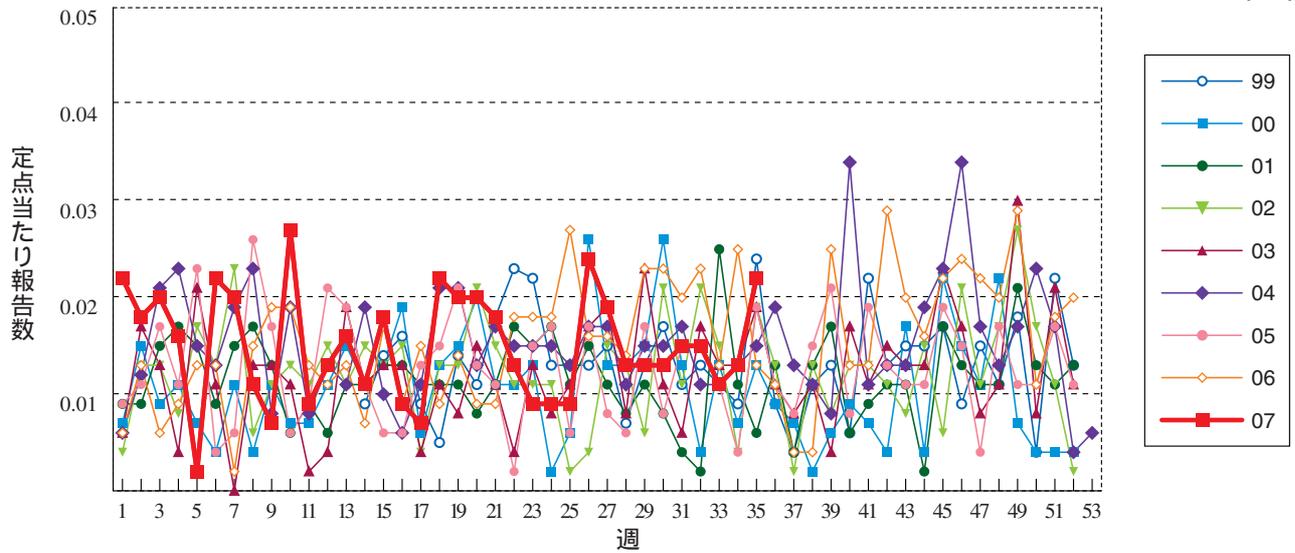


流行性角結膜炎



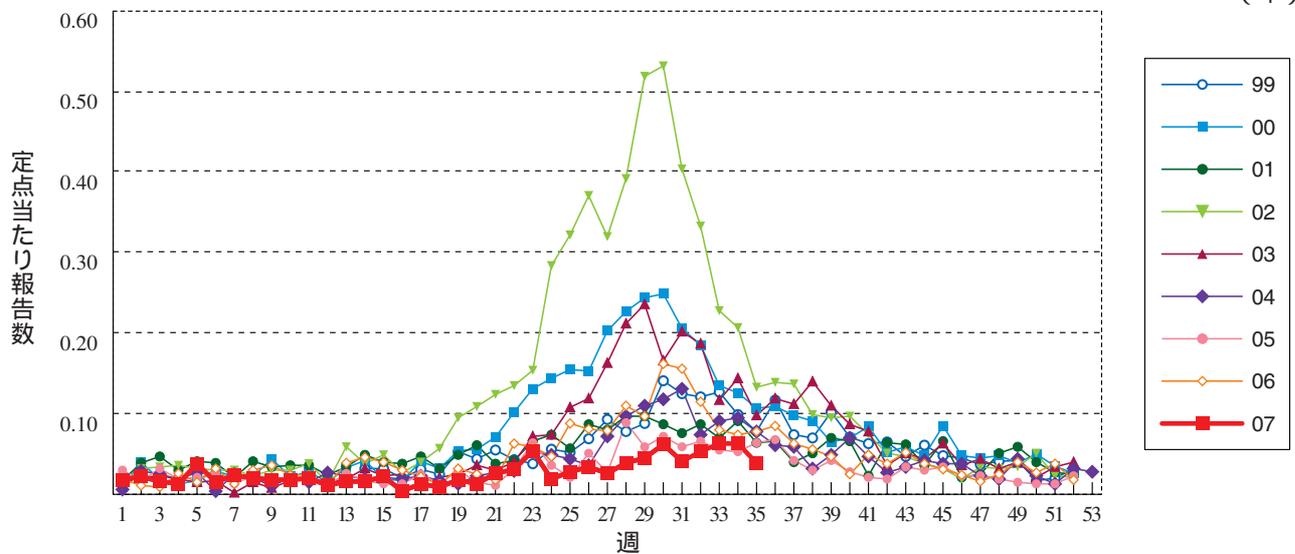
細菌性髄膜炎

(年)



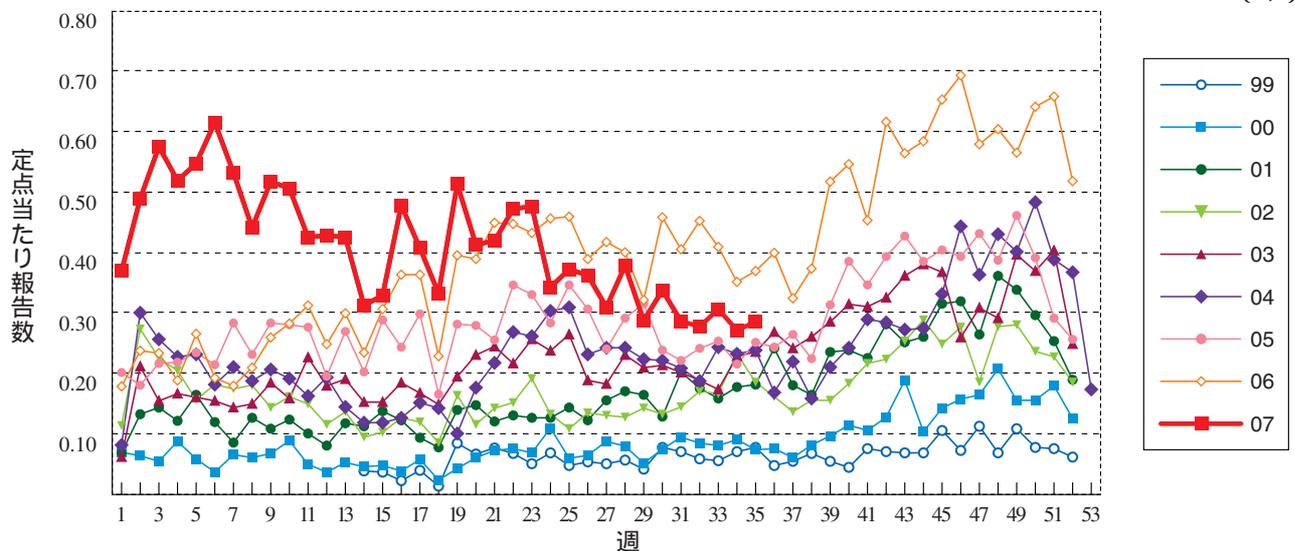
無菌性髄膜炎

(年)



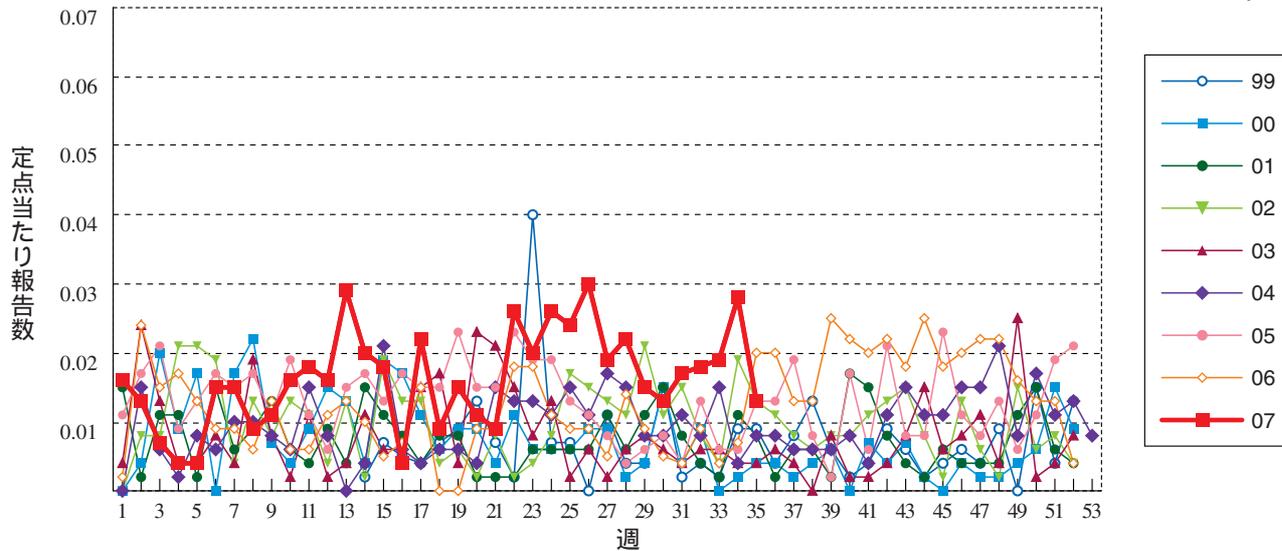
マイコプラズマ肺炎

(年)



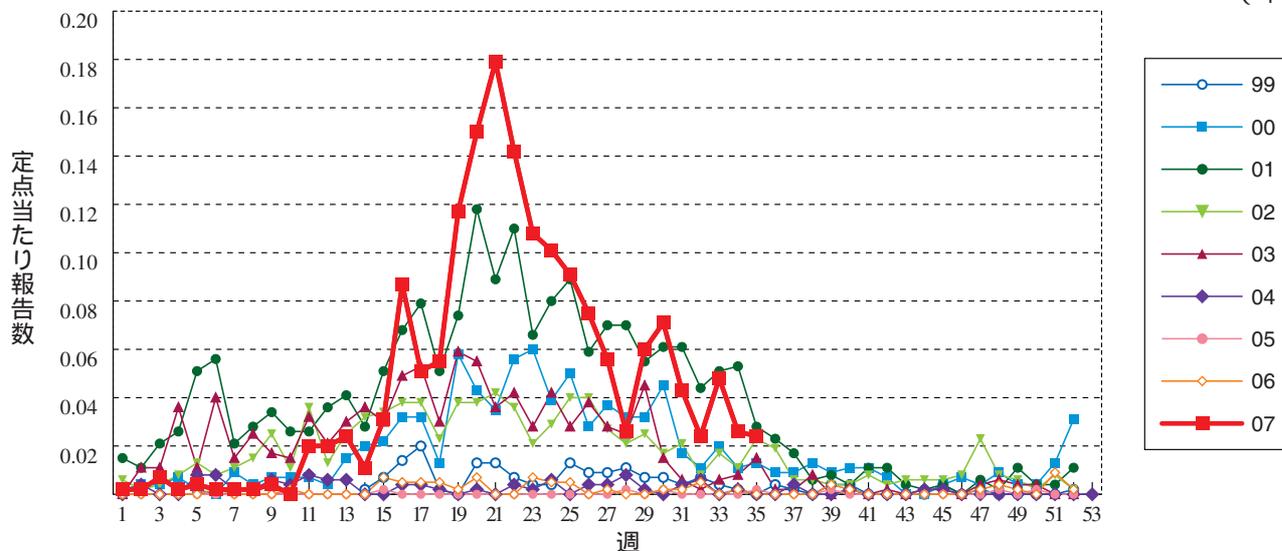
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



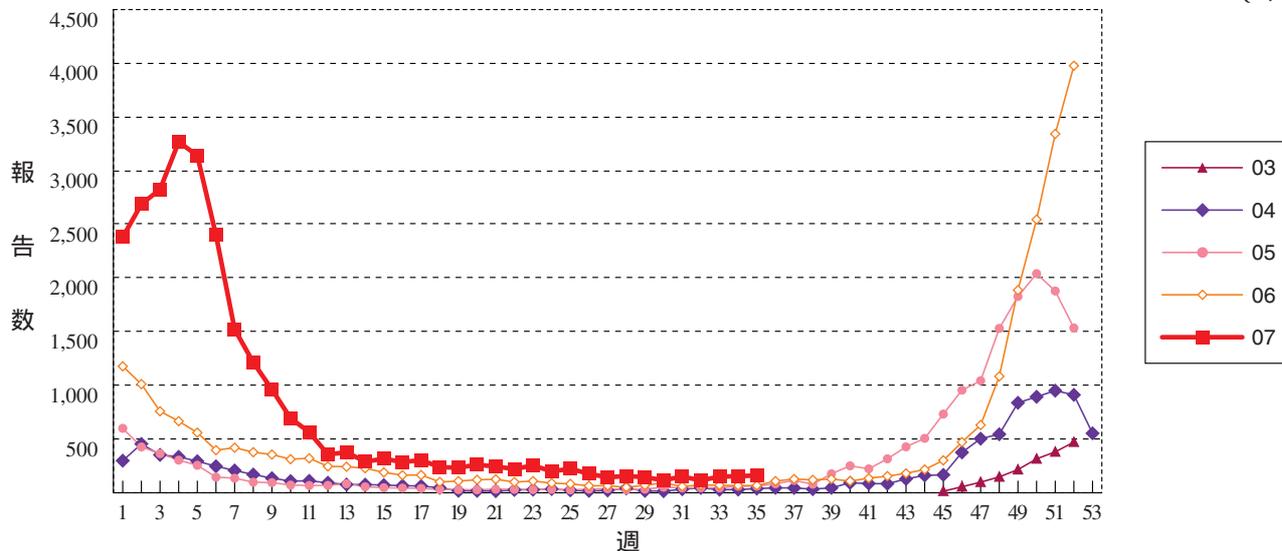
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





### 35週のデータ

注1) 表中の報告数は9月5日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

\*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年35週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	259	8616
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	284
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	108
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	66
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	130
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	54
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	104
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	192
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	115
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	103
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	508
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	534
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	748
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	171
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	81
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	90
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	53
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	125
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	208
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	758
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	176
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	113
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	292
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	497
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	368
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	124
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	77
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	41
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	147
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	243
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	121
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	81
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	58
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	145
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	70
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	581
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	85
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	166
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	91
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	107
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	172
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53

\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	ジフテリア		重症急性呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	1	10	11	349	228	2784	1	26	-	10	-	39	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	3	35	-	1	-	-	-	9	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	2	4	23	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	10	38	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	2	44	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	3	3	35	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	1	24	42	-	2	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	4	1	21	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	1	-	1	3	24	-	-	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	3	52	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	58	6	102	-	2	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	3	36	15	121	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	1	56	9	359	1	8	-	3	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	15	6	132	-	-	-	2	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	22	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	22	56	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	104	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	8	2	49	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	2	26	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	3	26	4	60	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	23	7	75	-	2	-	-	-	7	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	1	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	29	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	6	2	40	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	47	26	306	-	5	-	1	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	5	11	115	-	3	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	30	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	4	4	58	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	16	2	63	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	2	29	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	14	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	12	142	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	22	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	5	78	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	12	98	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	3	59	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	86	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	37	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱		狂犬病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	108	-	12	-	-	1	23	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
北海道	-	6	-	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	15	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	9	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	1	51	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	5	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	鳥インフルエンザ		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		ベネズエラウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	5	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	3	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	ヘンドラウイルス感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類 鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	2	3	33	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年35週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	402	2	10	-	-	12	531	2	155	-	160	-	5	-	97	1	68
北海道	-	17	-	-	-	-	-	15	-	5	-	5	-	-	-	2	-	5
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	9	-	-	-	-	1	19	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	7	-	-	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-	-	2
福島県	-	7	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	9	-	-	-	-	-	7	-	2	-	8	-	-	-	1	-	2
栃木県	-	4	-	-	-	-	-	5	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	7	-	-	-	-	-	3	-	4	-	3	-	-	-	5	-	-
埼玉県	-	21	-	-	-	-	-	17	-	1	-	8	-	-	-	3	-	4
千葉県	-	12	-	-	-	-	-	20	-	-	-	12	-	-	-	6	-	2
東京都	1	34	-	2	-	-	3	121	-	28	-	14	-	1	-	7	-	4
神奈川県	-	29	1	1	-	-	1	57	-	7	-	5	-	1	-	5	-	10
新潟県	-	9	-	1	-	-	-	1	-	-	-	6	-	1	-	5	-	1
富山県	-	8	-	-	-	-	-	2	1	3	-	1	-	-	-	1	-	1
石川県	-	8	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	5	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	10	-	-	-	-	-	8	-	1	-	3	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	12	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	20	-	-	-	-	1	16	1	2	-	2	-	-	-	3	-	1
愛知県	-	23	-	-	-	-	-	34	-	5	-	2	-	-	-	5	-	4
三重県	-	7	-	-	-	-	-	5	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	6	-	-	-	-	-	9	-	1	-	2	-	-	-	3	-	-
京都府	-	13	-	-	-	-	1	17	-	6	-	4	-	-	-	3	-	-
大阪府	2	26	-	-	-	-	1	58	-	18	-	21	-	-	-	6	-	5
兵庫県	-	14	-	-	-	-	2	26	-	11	-	6	-	-	-	6	-	2
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	2	-	-	-	-	1	5	-	2	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2
岡山県	-	7	-	-	-	-	-	5	-	10	-	1	-	-	-	1	-	2
広島県	1	15	-	-	-	-	1	8	-	8	-	2	-	1	-	3	-	3
山口県	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	1	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	5	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	4	-	1
福岡県	-	13	1	1	-	-	-	21	-	6	-	6	-	1	-	3	-	2
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
長崎県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	16	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	1	-	3
沖縄県	-	3	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	14	961	2	34	-	12	-	-	7	446	2	64	-	-	-	48	-	-
北海道	-	14	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	1	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	10	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	15	-	-	-	-	-	-	-	12	-	4	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	15	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	16	-	-	-	1	-	-	-	5	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	20	-	-	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	30	-	3	-	1	-	-	1	16	-	3	-	-	-	-	-	-
東京都	5	313	1	12	-	1	-	-	1	91	-	1	-	-	-	11	-	-
神奈川県	-	67	-	6	-	-	-	-	2	29	1	3	-	-	-	13	-	-
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	4	-	-
静岡県	1	24	-	-	-	-	-	-	-	13	-	2	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	95	-	1	-	1	-	-	-	40	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	11	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	12	-	1	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	2	-	-
大阪府	3	130	1	6	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	1	17	-	-	-	1	-	-	-	8	-	1	-	-	-	2	-	-
奈良県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	15	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	2	-	-	-	1	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	26	-	-	-	1	-	-	-	27	-	2	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	7	-	-	-	-	-	-	1	28	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	1	1	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	1	-	-	-	10	-	4	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	19	-	-	-	1	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-

\*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	305	0.07	862	0.29	2124	0.71	9306	3.10	1106	0.37	2735	0.91	804	0.27	2578	0.86	83	0.03
北海道	-	-	29	0.20	225	1.57	198	1.38	66	0.46	72	0.50	72	0.50	82	0.57	-	-
青森県	-	-	13	0.31	33	0.79	61	1.45	10	0.24	99	2.36	5	0.12	26	0.62	1	0.02
岩手県	-	-	5	0.13	17	0.44	76	1.95	11	0.28	111	2.85	22	0.56	26	0.67	1	0.03
宮城県	3	0.03	9	0.15	29	0.48	188	3.13	19	0.32	118	1.97	50	0.83	64	1.07	1	0.02
秋田県	-	-	10	0.29	28	0.80	72	2.06	6	0.17	159	4.54	21	0.60	21	0.60	-	-
山形県	-	-	7	0.23	43	1.43	56	1.87	15	0.50	136	4.53	19	0.63	44	1.47	-	-
福島県	-	-	13	0.27	46	0.96	128	2.67	20	0.42	99	2.06	9	0.19	41	0.85	1	0.02
茨城県	1	0.01	7	0.09	55	0.73	141	1.88	12	0.16	59	0.79	9	0.12	39	0.52	1	0.01
栃木県	-	-	2	0.04	23	0.49	89	1.89	14	0.30	29	0.62	9	0.19	49	1.04	4	0.09
群馬県	-	-	8	0.13	36	0.59	167	2.74	23	0.38	28	0.46	16	0.26	63	1.03	-	-
埼玉県	-	-	51	0.33	169	1.10	546	3.55	71	0.46	103	0.67	20	0.13	159	1.03	6	0.04
千葉県	5	0.03	25	0.20	80	0.65	253	2.04	39	0.31	193	1.56	36	0.29	116	0.94	8	0.06
東京都	3	0.01	29	0.20	88	0.61	482	3.35	37	0.26	156	1.08	15	0.10	103	0.72	6	0.04
神奈川県	-	-	30	0.16	108	0.56	552	2.88	57	0.30	124	0.65	33	0.17	200	1.04	2	0.01
新潟県	-	-	20	0.33	52	0.85	110	1.80	29	0.48	99	1.62	48	0.79	59	0.97	-	-
富山県	-	-	10	0.34	30	1.03	120	4.14	13	0.45	3	0.10	8	0.28	26	0.90	-	-
石川県	-	-	11	0.38	31	1.07	103	3.55	14	0.48	11	0.38	8	0.28	22	0.76	-	-
福井県	1	0.03	3	0.14	22	1.00	96	4.36	12	0.55	6	0.27	14	0.64	17	0.77	1	0.05
山梨県	-	-	3	0.13	7	0.29	27	1.13	4	0.17	17	0.71	4	0.17	10	0.42	-	-
長野県	-	-	45	0.82	51	0.93	139	2.53	25	0.45	73	1.33	50	0.91	36	0.65	2	0.04
岐阜県	-	-	21	0.40	15	0.28	74	1.40	24	0.45	23	0.43	12	0.23	35	0.66	1	0.02
静岡県	7	0.06	19	0.22	65	0.76	325	3.78	20	0.23	82	0.95	14	0.16	83	0.97	3	0.03
愛知県	-	-	35	0.19	118	0.65	484	2.67	65	0.36	85	0.47	37	0.20	182	1.01	3	0.02
三重県	-	-	5	0.11	26	0.58	226	5.02	9	0.20	21	0.47	14	0.31	41	0.91	-	-
滋賀県	-	-	14	0.44	11	0.34	122	3.81	9	0.28	8	0.25	6	0.19	14	0.44	-	-
京都府	-	-	9	0.12	33	0.44	224	2.99	15	0.20	35	0.47	8	0.11	36	0.48	1	0.01
大阪府	2	0.01	68	0.36	184	0.97	629	3.31	81	0.43	74	0.39	33	0.17	137	0.72	11	0.06
兵庫県	-	-	32	0.25	55	0.43	420	3.26	43	0.33	21	0.16	37	0.29	89	0.69	8	0.06
奈良県	-	-	4	0.11	8	0.23	88	2.51	6	0.17	9	0.26	10	0.29	22	0.63	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	8	0.26	102	3.29	10	0.32	42	1.35	9	0.29	23	0.74	1	0.03
鳥取県	-	-	4	0.21	29	1.53	99	5.21	10	0.53	6	0.32	6	0.32	14	0.74	-	-
島根県	-	-	10	0.43	18	0.78	154	6.70	3	0.13	28	1.22	-	-	18	0.78	-	-
岡山県	1	0.01	25	0.46	18	0.33	221	4.09	14	0.26	10	0.19	8	0.15	28	0.52	-	-
広島県	-	-	65	0.90	41	0.57	278	3.86	34	0.47	25	0.35	10	0.14	59	0.82	2	0.03
山口県	-	-	29	0.59	55	1.12	223	4.55	21	0.43	17	0.35	22	0.45	51	1.04	5	0.10
徳島県	-	-	9	0.39	4	0.17	60	2.61	4	0.17	1	0.04	4	0.17	13	0.57	2	0.09
香川県	-	-	3	0.10	8	0.28	74	2.55	5	0.17	2	0.07	9	0.31	24	0.83	2	0.07
愛媛県	-	-	2	0.05	28	0.76	138	3.73	20	0.54	25	0.68	5	0.14	54	1.46	-	-
高知県	-	-	37	1.23	8	0.27	69	2.30	11	0.37	32	1.07	31	1.03	15	0.50	-	-
福岡県	-	-	44	0.37	61	0.51	591	4.93	66	0.55	204	1.70	17	0.14	163	1.36	6	0.05
佐賀県	-	-	16	0.70	10	0.43	24	1.04	8	0.35	32	1.39	3	0.13	33	1.43	-	-
長崎県	5	0.07	13	0.30	24	0.55	110	2.50	19	0.43	64	1.45	3	0.07	31	0.70	-	-
熊本県	3	0.04	14	0.29	19	0.40	215	4.48	17	0.35	52	1.08	3	0.06	57	1.19	3	0.06
大分県	-	-	23	0.64	30	0.83	259	7.19	25	0.69	45	1.25	7	0.19	49	1.36	-	-
宮崎県	8	0.14	15	0.42	33	0.92	229	6.36	17	0.47	33	0.92	17	0.47	49	1.36	1	0.03
鹿児島県	-	-	11	0.20	35	0.63	190	3.39	25	0.45	43	0.77	9	0.16	39	0.70	-	-
沖縄県	266	4.59	3	0.09	7	0.21	74	2.18	28	0.82	21	0.62	2	0.06	16	0.47	-	-

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	7	0.00	4527	1.51	67	0.02	860	0.29	10	0.01	526	0.79	10	0.02	18	0.04	132	0.29
北海道	1	0.01	388	2.71	1	0.01	17	0.12	-	-	20	0.69	-	-	-	-	6	0.26
青森県	-	-	208	4.95	1	0.02	15	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
岩手県	-	-	57	1.46	2	0.05	27	0.69	-	-	7	0.58	-	-	-	-	10	0.50
宮城県	-	-	129	2.15	4	0.07	33	0.55	-	-	1	0.08	-	-	-	-	8	0.67
秋田県	-	-	75	2.14	-	-	19	0.54	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	86	2.87	1	0.03	3	0.10	-	-	1	0.13	-	-	3	0.30	2	0.20
福島県	-	-	81	1.69	1	0.02	10	0.21	-	-	13	1.08	-	-	-	-	9	1.29
茨城県	-	-	55	0.73	-	-	7	0.09	-	-	14	0.82	-	-	-	-	2	0.15
栃木県	-	-	65	1.38	1	0.02	18	0.38	-	-	9	0.75	-	-	-	-	4	0.57
群馬県	-	-	89	1.46	-	-	22	0.36	-	-	32	2.29	2	0.25	1	0.13	6	0.75
埼玉県	1	0.01	194	1.26	3	0.02	28	0.18	2	0.05	29	0.69	-	-	-	-	3	0.33
千葉県	1	0.01	171	1.38	2	0.02	25	0.20	2	0.06	27	0.79	-	-	-	-	2	0.25
東京都	-	-	191	1.33	1	0.01	28	0.19	1	0.03	19	0.49	-	-	3	0.12	1	0.04
神奈川県	-	-	274	1.43	1	0.01	34	0.18	-	-	56	1.51	-	-	1	0.13	4	0.50
新潟県	-	-	296	4.85	1	0.02	28	0.46	-	-	3	0.27	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	22	0.76	-	-	12	0.41	-	-	1	0.14	-	-	-	-	4	0.80
石川県	1	0.03	51	1.76	-	-	4	0.14	-	-	7	1.00	-	-	-	-	4	0.80
福井県	-	-	13	0.59	-	-	20	0.91	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67
山梨県	-	-	29	1.21	-	-	1	0.04	-	-	3	0.33	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	181	3.29	-	-	16	0.29	-	-	3	0.27	-	-	1	0.09	2	0.18
岐阜県	-	-	59	1.11	-	-	6	0.11	-	-	2	0.18	-	-	1	0.20	-	-
静岡県	-	-	170	1.98	-	-	23	0.27	-	-	19	0.95	-	-	-	-	5	0.56
愛知県	2	0.01	189	1.04	-	-	55	0.30	-	-	13	0.38	1	0.07	-	-	7	0.47
三重県	-	-	117	2.60	1	0.02	8	0.18	-	-	5	0.42	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	-	-	22	0.69	-	-	8	0.25	-	-	2	0.29	-	-	1	0.14	1	0.14
京都府	-	-	51	0.68	4	0.05	21	0.28	-	-	3	0.17	-	-	1	0.14	-	-
大阪府	-	-	197	1.04	7	0.04	60	0.32	2	0.04	13	0.29	1	0.08	-	-	4	0.31
兵庫県	1	0.01	162	1.26	4	0.03	41	0.32	-	-	22	0.63	1	0.09	-	-	1	0.09
奈良県	-	-	11	0.31	-	-	9	0.26	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	34	1.10	-	-	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	16	0.84	-	-	1	0.05	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	13	0.57	-	-	4	0.17	-	-	-	-	-	-	4	0.50	-	-
岡山県	-	-	45	0.83	-	-	24	0.44	-	-	16	1.33	2	0.40	-	-	-	-
広島県	-	-	52	0.72	-	-	13	0.18	-	-	24	1.26	-	-	-	-	4	0.19
山口県	-	-	72	1.47	-	-	10	0.20	-	-	5	0.56	-	-	-	-	3	0.33
徳島県	-	-	18	0.78	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	16	0.55	1	0.03	4	0.14	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	85	2.30	-	-	14	0.38	-	-	31	3.88	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	49	1.63	-	-	27	0.90	-	-	6	2.00	-	-	1	0.14	-	-
福岡県	-	-	129	1.08	26	0.22	55	0.46	1	0.04	52	2.00	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	16	0.70	1	0.04	9	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1.00
長崎県	-	-	29	0.66	1	0.02	23	0.52	2	0.25	1	0.13	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	-	-	75	1.56	-	-	16	0.33	-	-	10	1.11	2	0.13	-	-	-	-
大分県	-	-	55	1.53	1	0.03	21	0.58	-	-	11	2.20	-	-	-	-	1	0.09
宮崎県	-	-	151	4.19	-	-	22	0.61	-	-	9	1.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	36	0.64	2	0.04	11	0.20	-	-	3	0.43	-	-	-	-	5	0.42
沖縄県	-	-	3	0.09	-	-	4	0.12	-	-	23	2.30	-	-	-	-	17	2.43

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2007年35週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	6	0.01	11	0.02	162
北海道	-	-	-	-	8
青森県	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	1	0.08	1
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	1	0.13	4
東京都	1	0.04	2	0.08	5
神奈川県	-	-	-	-	1
新潟県	2	0.17	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	3
愛知県	2	0.13	-	-	1
三重県	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	3	0.23	17
兵庫県	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	9
徳島県	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	4	0.29	30
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	6
熊本県	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	20

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年35週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						結核		細菌性赤痢		ウエストナイル熱	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		サル		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年35週

	エキノコックス症		インフルエンザ(H5N1)	
	犬		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	5
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第9巻 第35号 2007年9月14日発行  
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。